

第五十一回
帝國議會
衆議院
所得稅法中改正法律案(政府提出) 外二十七件

會議

大正十五年二月四日(木曜日)午前十時
三十二分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 元田 肇君

理事 田中 万逸君
理事 山田 道兄君
理事 砂田 重政君
理事 赤間嘉之吉君
理事 三輪市太郎君
理事 金光 庸夫君
理事 湯淺 凡平君
理事 石坂 豐一君
理事 原 脩次郎君
町田 忠治君
荒川 五郎君
淺川 浩君
高木 正年君
岡本實太郎君
竹内友治郎君
武藤 金吉君

所得稅法中改正法律案(政府提出)
大正九年法律第十二號中改正法律案
(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(政府提出)
地租條例中改正法律案(政府提出)
明治三十七年法律第十二號中改正法律案
(地租徵收ニ關スル件)(政府提出)
營業稅法廢止法律案(政府提出)
營業收益稅法案(政府提出)
資本利子稅法案(政府提出)
相續稅法中改正法律案(政府提出)
酒造稅法中改正法律案(政府提出)
酒類及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
醬油稅則廢止法律案(政府提出)
自家月醬油稅法廢止法律案(政府提出)
賣藥稅法廢止法律案(政府提出)
清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)
大正九年法律第五十一號中改正法律案
(朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)
地方稅ニ關スル法律案(政府提出)
明治四十二年法律第三十七號中改正法律案
(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)
市町村稅地租法案(山本悌二郎君外十三名提出)
市町村稅地租法案ノ施行ニ關スル法律案(山本悌二郎君外十三名提出)
地租條例中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)
所得稅法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)
大正九年法律第十二號中改正法律案
(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)
明治四十二年法律第七號廢止法律案
(國債ノ利子所得稅免除ニ關スル件)
(床次竹二郎君外二十三名提出)
市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

委員會會議錄(速記)第四回

賣藥稅法廢止法律案(政府提出)

骨牌稅法中改正法律案(政府提出)

清涼飲料稅法案(政府提出)

大正九年法律第五十一號中改正法律案
(朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)

地方稅ニ關スル法律案(政府提出)

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案
(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

府提出)

○元田委員長 所得稅法中改正法律案
外二十七件ノ委員會ノ續會ヲ開キマス、諸君ニ御報告ヲ致シマスガ、昨日政府ト打合テ致シマシテ、本日午前十時ヨリ開會スルコトニ、公報ヲ以テ御通知ニ及ンダ次第アリマスガ、大藏大臣ハ只今關稅ノ委員會ニ呼バレマシテ、此方ニ參ラレヌデ私考ヘマスルノニ、大藏大臣ガ出席シテ、説明ヲ先ヅ以

テスルト云フコトガ至當ト思ヒマスル
カラシテ、出席スルマデ——今交渉中
デアリマスカラ、暫ク休憩致シマス、併
シ此次ニハ御出下サルコトヲ切ニ希望
致シマス

○砂田委員 一寸議事ノ進行ニ付テ：

○元田委員長 進行デスカ、承リマス

○砂田委員 本日ノ各新聞ニ依リマス
ルト、地方税ノ改廢ノ行ハレマシタ結
果ガ、地方ノ歳入ノ上ニ如何ニ影響ヲ
及ボスカト云フコトガ、詳シク各新聞
紙ニ發表サレテ居ルノデアリマスガ、
是ハ多分想フニ、政府ノ方カラ斯様ナ
コトハ發表サレタモノト思フノデアリ
マス、吾々發表ニ異議ヲ言フノデアリ
リマセヌガ、斯様ナコトガ此税制ノ審
議ヲスル上ニ於テ最モ重要ナ關係ノア
ル問題デアリマス、固ヨリ斯様ナコト
ハ發表セラル、ト同時ニ、吾々ノ手許
ニモ參考資料トシテ御配付ニナルモノ
ト信ジテ居リマシタガ、只今マデ何物
モ御配付ニナツテ居ラス、是ハ委員長ヨ
リ政府ニ御交渉下サイマシテ、斯様ナ
資料ガ内務省ニ於テ調査ガ終ツテ居リ
マスルナレバ、速ニ委員ニ之ヲ御配付
ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ風ニ其交渉ヲ願
ヒマス

○元田委員長 承知致シマシタ

「來テ居マスヨ」ト呼フ者アリ」

○元田委員長 砂田君、只今政府側ノ
出席シテ居ル人ヨリ、委員會ニ配付シ

タ後ニ發表シタト云フコトデアリマ
ス、左様御承知ヲ願ヒマス

○三土委員 一寸今配付セラレタ參考
書ニ付テ、幸ヒ潮君ガ來テ居ラレルカ
ラ御説明ヲ聽キタイト思ヒマス、此休
ンデ居ル時間ニ……

○元田委員長 休ンデ居ル時間ニ聽キ
マスカ、休憩セズニ聽キマスカ

○三土委員 セズニ宜シウゴザイマス

○元田委員長 ソレデハ政府委員カラ
説明ヲ聽キタイト云フ御方ガアルヤウ
デアリマスカラ、休憩ヲ取消シマシテ
政府委員ノ説明ヲ願ヒマス

○三土委員 改メテ申シマスガ、此配
付サレテ居ル改正案ガ地方税ニ及ボス
影響、増減ノ對照ヲ示サレテ居リマス
ガ、ソレニ付テ大體潮地方局長カラ御
説明ヲ伺ヒタイ

○潮政府委員 御手許ニ差上グマシタ
參考書ニ付キマシテ大體ノコトヲ御説
明申上ゲタイト思ヒマス、今日差上ゲ
ルコトガ遅カッタノデ、十分ニ御覽下サ
ル暇モゴザイマセヌデアッタカト思ヒ
マスガ、一應御覽ヲ願ヘバ、モウ申上ゲ
ルマデモナク御了解ノコト、存ジマ
ス、唯此所デハ大體ノコトヲ申上ゲル
ニ止メマセウト思ッテ居リマス、府縣稅
ノ方カラ申シマス、地租附加稅ノ關

係ニ於キマシテ、地價二百圓以下ヲ免
租ニ依リマスル附加稅ガ千三百八十萬
三千圓、ソレカラ地租率ノ低減ニ依リ
マスル分ガ、八百十一萬六千圓、之ヲ如

何ニシテ補填致シマスカト云フト、一
面ニ於キマシテハ地租率ノ低減ニ依リ
マスモノハ、附加稅率ノ引上ニ依テ八
百十一萬六千圓ヲ徵收致シ、他ノ免租
ニナリマスル土地ニ對シマシテハ、新
ニ特別地稅ト云フモノヲ起シマシテ、
千三百七十八萬八千圓ヲ増シタイ、ソレガ
爲ニハ地方稅制限ニ關スル法律及地方
稅ニ關スル法律ニ於キマシテソレノ
規定ヲ設ケマシタ、ソレカラ國稅營業
稅ニ付キマシテモ同様デゴザイマシ
テ、營業收益稅トナリマシテ個人最低
限ノ引上ニ依リマス附加稅ガ百二十三
萬圓減收致シマス、本稅ノ課稅標準、稅
率變更ニ依リマス分ハ八十萬八千圓、
此分ハ第二項ニアリマス課稅標準及
稅率變更ニ依ル減ダケヲ附加稅率ノ引
上ニ依テ補填ヲ致シタイト思ヒマス、
ソレカラ此百二十三萬圓ノ問題ハ後ニ
關聯致シマスルガ、是ハ茲デ直ニ補填
ノ策ヲ講ズベキモノデナイト思ヒマス
ス、一面ニハ地方營業稅ニ落チテ參
リマスカラ、ソコデ始末ヲ致シタイト
存ジマス、所得稅附加稅ニ付キマシテ
ハ、所得稅法ノ改正ニ依リマスル附加
稅ノ減ハ五十二萬圓トアリマスガ、是
ハ免稅點ノ引上ゲニ依ル、極ク低キ生
活ヲ致ス者ノ關係デアリマスカラ、此
計畫ニ付キマシテハ何等補填ヲ致サナ
イ積リデアリマス、次ニ府縣稅戶數割
ヲ廢スル關係上、戶數割及ビ戶數割ニ
代ル家屋稅ヲ含ンデ廢止スル關係上、

所得稅ト家屋稅ニ影響ヲ致シテ參リマ
スガ、其一部トシテ戶數割廢止ノ爲ノ
所得稅附加稅ヲ増率致スノ餘儀ナキコ
トニナリマシタガ、是ハ二千二百四十
八萬圓、ソレカラ家屋稅ハ三千五十三
萬圓ヲ徵收致シマスレバ、戶數割家屋
稅ガ廢止サレルノデアリマス、ソレカ
ラ府縣ノ獨立營業稅及ビ雜種稅ニ付キ
マシテハ、是ハ申上ゲルマデモナク多
年ノ問題デアリマシテ、此兩稅ニ付テ
ハ相當整理ヲ致スコトニナリマスル
ノデ、一面ニハ整理ヲ致シマシテ、五
百八十六萬三千圓ノ減ヲ出シマスルト
共ニ、先程申上ゲマシタ國稅營業收益
稅カラ落チテ參リマスルモノノ爲ニ、
二百三十一萬八千圓ト云フモノハ、從
來國稅及ビ地方營業稅ノ附加稅ヲ取
テ居リマシタカラ、ソレ等ノ關係ヲ考
慮シテ二百三十一萬圓ヲ徵收致シマシ
タ、最後ニ、國稅ハ將來約百分ノ八ノ輕
減ニナルト云フコトデアリマスガ、是
等ノモノニ對シテモ凡ソ百分ノ八ノ輕
減トシマセヌト權衡ガ取レマセヌカラ、
ソレヲ營業稅ニ於テ輕減スル爲ニ、僅デ
アリマスケレドモ七十二萬八千圓ノ減
收ニナリマス、總計七千八百三十六萬二
千圓ノ増ニ對シテ、減ハ八千三百九十
九萬八千圓デ、差引五百六十三萬六千
圓ガ減收ニ相成ル譯デアリマス、市町
村稅ニ付キマシテハ方針ハ唯今申上ゲ
タコトト變リハアリマセヌ、唯所得稅
ノ附加稅ニ於テ今日戶數割ヲ施行シ難

キ土地、所謂家屋稅施行地デアリマス、是等ノ土地ニ於キマシテハ將來ト雖モ市町村戶數割ヲ賦課スルノハ、事情ガ同様許シマセヌ、其爲ニ法律ニゴザイマス通リ、從來ノ百分ノ十四トアリマスル附加稅率ノ半分ダケヲ此土地ニ賦課サセルガ宜カラウ、ソレハ一面ニ於キマシテ此地ニ於キマシテハ、全然物稅バカリニナツテ人稅ガ無ク、其關係ニ於キマシテモ幾分所得稅附加稅ヲ徵收サレテ宜カラウト存ジマス、家屋稅附加稅ニ付キマシテハ、將來戶數割ノ施行地ニ於キマシテ二千餘萬圓、戶數割ヲ施行致シ難キ市町村ニ於キマシテハ二千四百萬圓ト云フモノヲ徵收致ス豫定デアリマス、ソレカラ戶數割ノ新設デアリマスガ、從來ハ御承知ノ通り府縣戶數割ハ本稅デゴザイマスカラ、之ニ對シテ戶數割附加稅ヲ徵收シテ居リマス、府縣ノ本稅ヲ廢ス爲ニ新ニ市町村ガ獨立シタル戶數割ヲ制定スルコトニナリマスガ、之ガ一億四千八百萬圓デアリマス、府縣稅、營業稅、雜種稅ノ課稅ニ付キマシテハ、是モ府縣デ申上ゲタト同様ニ、國カラ落チテ來ル府縣營業者ノ増加ニ伴ッテ百五十九萬五千圓ノ増額デ、ソレト同時ニ營業稅、雜種稅ノ課目整理ニ伴ッテ、矢張市町村モ附加稅ヲ減ジナケレバナラズ、其額ガ五百二十六萬圓、營業附加稅、附加稅ノ附加率ニ付キマシテモ、相當ノコトヲ致サナケレバナリマセヌノデ、之ヲ百分ノ

八十ト致シマスルト、百七十五萬圓ト云フ減收ニナリマス、差引増減ヲ見マサルト、二億一千四百萬圓ノ増シニ對シテ、二億二千萬圓ノ減ガ立チマスルノデ、結局差引減六百五十八萬五千圓ニナリマス、是ハ府縣稅、及市町村稅共大體ニ於テ支障ナク整理ガ付クト存ジテ居リマス

○潮政府委員 此十年度カラ施行致シマスルモノト十六年度カラ施行致スモノトアリマシタノデ、部分的ニ考ヘレバ十六年度ニハ必ズ之デ整理ガ出來ル筈デアリマス

○小川委員 今ノ潮局長ノ御話ハ平年度デアラウト思ヒマスガ、國稅ニ對シテハ初年度ト本年度ニ於テ大變開キヲ見テ居リマスガ、地方稅ニ於テハ、其開キヲ見ナイノデアリマスカ、此家屋稅ノ附加稅ガ合セテ四千萬圓ノモノデアリマスガ、是ハ何時ノ年度デアルカ、其邊ヲモウ少シ御説明ヲ願ヒタイ

○潮政府委員 國稅ヲ根據ニ取リマシタモノハ、大藏省ノ平年度ニ依リ、地方稅ヲ考ヘル時ニハ十四年度ノ地方豫算ヲ根據ト致シテ居リマス、家屋稅ニ付キマシテモ十四年度ノ豫算ヲ元ト致シマシテ、其戶數割ヲ廢シテ、所得稅附加稅、家屋稅ト云フヤウニ振分ケマス

○潮政府委員 御尋ハ了解致シマシタ、多分斯ウ云フ趣旨デアラウト思ヒマス、十五年度カラ施行スルモノト、十六年度カラ施行スルモノトアルナラバ、之ヲ辨メテ見テ十五年度ハ施行シナイ 現狀デ行クナラバソコニ變々數字ガ現ハレル、十六年度ニナレバ又ドウナルカ、ソレノ分ッタク表ヲ欲シイト云フ御話デアラウト思ヒマスガ、ソレハ調ベテ差上ゲルコトニシマス

○小川委員 此數字デアリマスガ、何年度カラ是ダケノモノガ上ッテ來マスカ、今ノ計算ノ基礎ハ十四年度ノ豫算デアルト云フコトデアルガ、斯ウ云フ額ノ上ッテ來ルノハ何年度デアルカ、本年度ト初年度ヲ國稅ニ於テ分ケテアリマスガ、地方稅ハ分ケテ居ルカドウカ、分ケテ居ルトスレバ何年度ニ於テ此額ガ出テ來マスカ

○潮政府委員 御尋ハ了解致シマシタ、多分斯ウ云フ趣旨デアラウト思ヒマス、十五年度カラ施行スルモノト、十六年度カラ施行スルモノトアルナラバ、之ヲ辨メテ見テ十五年度ハ施行シナイ 現狀デ行クナラバソコニ變々數字ガ現ハレル、十六年度ニナレバ又ドウナルカ、ソレノ分ッタク表ヲ欲シイト云フ御話デアラウト思ヒマスガ、ソレハ調ベテ差上ゲルコトニシマス

○潮政府委員 自然增收ト申シテモ平年ニ於ケル歲計ノ自然増額トカ、或ハ各稅ノ自然增收ト云フ意味デハナイノデアリマシテ、國稅ヲ免稅ニスレバ、他ノ地方營業者ハ現ニ營業稅ヲ取ラレテ居ルノデアリマスカラ、ソレト同様ナ趣旨ニ於テ、落チテ來タモノニ免稅ハ

同感デアリマスガ、私共ニモ御配布ヲ

願ヒタイト思ヒマス、モウ一ツ小川君ガ御問ニナラナンダ事デ疑問ガアリマスカラ御尋致シマスガ、府縣稅ト市町村稅ト兩方ノ表ノ中ニ、營業稅、雜種稅ト云フ所ニ府縣稅、營業稅ノ増ト云フノガアリマスガ、府縣稅營業稅ノ増ト云フノハ、今回地方稅ニ於ケル營業稅ノ規則ヲ御改正ニナツタ結果、所謂課目ガ殖エタ爲ニ當然増シテ來ルノラ意味スルノデアアルカ、或ハ自然增收ヲ見越サレタノデアアルカ、之ガ一ツノ疑問デアリマス、ソレヲ先ヅ御尋シタイ

○潮政府委員 只今ノ御尋ハ國稅カラ落チテ參リマシテ、國稅ノ免稅ニナリマスモノニ府縣ノ營業稅ヲ掛ケル、申サバ自然ノ增收デゴザイマス

出來ナイ、ソレヲ取ルト云フ意味ニ於ケル增收デアリマス

○大口委員 ソレデ大體其點ハ分リマシタガ、ソコデ差引減ノ問題デアリマス、府縣稅ノ方デモ差引減ハ五百六十萬圓、市町村稅ノ方モ差引減六百五十萬餘圓アリマスガ、差引減ト書クト如何ニモ地方稅ガソレダケ減稅ニナルヤウニ見エルトデアリマスガ、御承知ノ通り地方ガ今困ッテ居ルハ財源ガナクテ困ッテ居ルノデ、隨テ此地方稅ニ對シ、今財源ヲ少ナクスルト云フコトハ困難デヤナカラウカト私共思ッテ居ル、然ルニ政府ノ方デ減セラレテ、財源ヲ少ナクサレルト云フコトニナレバ、自然率ヲ増サナケレバナラヌト云フ結果ヲ來シハセヌカト思フノデアリマスカ、此差引減即チ財源ノ減點ニ付テス府縣ナリ市町村ニ於テドウ云フヤウニヤラセルト云フ考デアリマスガ、其點ヲ伺ヒタイ

○潮政府委員 府縣稅ニ於キマシテ御覽ノ通り五百五、六十萬圓ノ減收ニナリマスノハ、之ハ地方費ノ緊縮デヤル積リデアリマス、ト云フノハ一面ニ於キマシテ郡役所費ガ一千萬圓許リ使ッテ居リマスノデ、之ヲ此度整理致シマスレバ、地方費ハ約半額デヤレル積リデアリマス、約五百萬圓内外ノモノデ此整理ハ出來ルト思ッテ居リマス、ソレカラ市町村ノ方ハ六百五十餘萬圓ノ減收デゴザイマスケレドモ、之ハ稅收入

ガ總額ニ於テ六百五十萬圓減ルノデアリマスガ、總テ是ダケノ事業ヲ緊縮スル必要ハナイノデアリマス、ト云フノハ此稅收入ノ外ニ收入ガアルノデアリマス、一種ノ收入ガアリマス、ソレハ義務教育費國庫負擔金デゴザイマスガ、義務教育費國庫負擔金一部ハ、細民ニ對スル營業稅トカ、雜種稅トカノ制限ニ充テテモ法律ノ精神ニ違反スルモノデナイト信ジマスノデ、府縣ガ結局市町村デ緊縮スベキ額ハ約五百萬圓位ニナルト思ヒマス、ソレデ大口サンノ心配スルヤウニ——率ヲ増サナケレバナラヌデヤナイカト云フ話デゴザイマスガ、ドウシテモ地方デ必要ナ金デアレバ、其減ルノハ稅金ニ超過シタ賦課ヲモ許サナケレバナラヌト信ジテ居リマス

○砂田委員 私小川サンニ添ヘテ、市町村ノ稅制整理、制限ノ一覽表ガ出テ居リマスガ、之ヲ市ト町村ニ區別ニシタ一覽表ヲ御示シ願ヒタイ、サウスルト非常ニ判然シテ參リマス、ソレト十四年度ノ基礎ニ用キタモノ、小川サンノ希望ノ平年度ニ屬スルモノ、兩方御廻シヲ願ヒタイト思ヒマス

○元田委員長 政府ハドウデスカ、只今ノ請求ニハ應ジラレマスカ

○潮政府委員 出來ルダケ調べマシテ御廻シ致シマス

○元田委員長 出來ルダケ砂田君ノ希望ヲ充スト云フコトデアリマスガ、ソ

レカラ併セテ政府ニ望ンデ置キマスガ、請求シタ人許リデナク、願クハ全委員ニ御配付ニナッタラ極メテ調査ニ都合ガ宜イト思ヒマスカラ、其準備ヲ願ヒマス

○潮政府委員 總テ委員課ヲ通ジテ御廻シスルコトニ致シマス

○小川委員 家屋稅ノコトニ付テ私ハ問題ガ起ルダラウト思ヒマスガ、家屋稅ノ額ハ大ナルモノデアリマスガ、之ガ基礎ヘドウ云フ所カラ出テ居リマセウカ、現行法デハ家屋稅ヲ施行シテ居ル所ハ比較的僅カデアル、ソコノ調べハ直チニ出來ルト思ヒマスガ、家屋稅ヲ施行シテ居ナイ所ニ於キマシテ家屋ノ賃貸價格、其他ノ調べガ出來テ居ナケレバ、斯ウ云フ數字ガ出テ來ナイト思ヒマスガ、其基礎調査、家屋稅ノ三萬圓ノ出テ來マス基礎、賃貸價格ガ幾ラト云フコトノ御調ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ關聯シマシテ只今大口サンノ御質問ニ關聯シマスガ、府縣稅ノ收入減ガ五百六十萬圓、ソレハ郡役所ノ廢止ニ依ル金ヲ以テ之ニ充テル、詰リ郡役所ノ費用ノ輕減ニ依テ之ヲ補フト云フコトデアリマシタ、併シ郡役所ヲ廢止スルニ依テ國家ガ支出シナケレバナラヌ經費ガ相當アツタ、聞ク所ニ依リマスレバ二百七、八十萬圓アツタサウデアル、ソレガ政府ノ豫算デハ八十萬圓シカ出テ居リマセス、サウシマスト共二百萬圓ト云フモ

ノハ是ハ當然府縣ガ支辨スルト云フコトニナリハシナイカト思ヒマスガ、サウナルト今ノ御説明トハ違ッテ、郡役所ヲ廢止スルト云フコトニ依テ全體デハ減收ガ生ズルカ知レマセヌガ、府縣トシテハ多クナルノデハナイカト思ハレマスガ、其邊ノ數字ヲ明カニシテ戴キタイト思ヒマス、矢張表デ御示シ下サレバ宜シイノデアリマス

○潮政府委員 只今ノ小川サンノ御質問ニ御答致シマス、私ハ一寸御質問ノ趣意ヲ了解シ兼ネマシタガ、郡役所費ニ於キマシテハ國費トシテ三分ノ一ヲ減ジ、地方費ノ方ハ半分ヲ減ズルノデアルト申上ゲマシタ、地方費ハ郡役所關係以外ノモノハ皆地方費ガ今日郡役所費トシテ持ッテ居ルノデ、財政ノ整理ノ一端トシテ郡役所ヲ廢シ、國費三分ノ一ヲ減ラスト云フコトニナリマス、矢張地方費ニ於テサウ云フ整理ノ目的デ半減致シタイト云フ希望デヤツテ居リマス、大體ハ地方官ノ意見ヲモ徵シテ居リマス、サウシテ今申上ゲルヤウニ、從來ノ一千萬圓ニ對シテ五百萬圓内外デ出來ル見込デアリマス、此點ハ愈實際ノ間際ニナリマセヌト、果シテ郡役所費ヲ厘毛モ違ハズ是ダケデ出來ルト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマス、大體ノ數字ノコトハ御要求ガゴザイマスカラ差上ゲル積リデアリマス

○小川委員 只今ノ事デアリマスガ、

内務省ガ豫算案ヲ初メ計上セラレタ時
分ニ、新聞紙デ見マシタノデアリマス
カラ聞達ッテ居ルカ知レマセヌケレド
モ、國ノ豫算ニ對シテ今計上サレテ居
ル八十萬圓ヨリハモット多ク要求サレ
テ居タト聞イテ居リマス、ソレヲ削ラ
レタサウデアリマスガ、其差額ト云フ
モノ、矢張府縣カ何カガ之ヲ支辨セザ
レバ、郡役所廢止ノ善後處置ト云フモ
ノハ出來ナイデヤナイカト思フノデア
リマス、其差額ヲ一ツ明カニシテ戴キ
タイト思ヒマス

○潮政府委員 只今ノ御尋ニ御答スル
コトハ、少シムツカシクハナイカト思
ヒマス、内務省ガ幾ラ要求シテ大藏省
ガ幾ラ削リマシタ、仍テ其差額ガ幾ラ
アルトカナイトカ云フコトハ、ドウモ
政府トシテハ申上ゲルコトハ私デハ少
シムツカシイト思ヒマス

○石坂委員 一寸色ミノ資料ヲ要求サ
レマスカラ、私モ一ツ御願ヒ致シタイ
ノデアリマスガ、府縣ニ於テ課目整理
ニ因ル減、其中ノ五百八十六萬三千圓
ト云フモノガアリマス、尙ホ其中ヲ見
ルト雜種稅四百六十五萬一千圓、市町
村ニ於キマシテ尙ホソレト同ジク課目
整理ニ因ル減ト云フモノガ雜種稅附
加稅ガ四百十三萬九千圓ト云フモノガ
アル、此雜種稅ハ御承知ノ通り種々雜
多ナ小サナ課目カラ出來テ居ルノデア
ルガ、今回付議サレテ居ル法律案ノ中
ニ付テモ、サウ云フモノヲ雜種稅目ト

シテ徵收セシメル御見込デアリマス
カ、此府縣ニ於ケル四百六十五萬一千
圓、竝ニ市町村ニ於ケル四百十三萬九
千圓、斯様ナモノハ如何ナル根據カラ
出テ居ルカ、其計算ニ基イタ其課目概
算ヲ御示シ願ヒタイ、此表ハ大正十四
年度ガ出シテアリマスガ、各府縣ノ決
議ニ依リマシテソレニ零細ナモノヲ拾
ヒ上ゲニナッテ居ルト思ヒマスガ、其課
目ガ分リマシタラ課目及ビ金額ニ付テ
御調べガ願ヒタイノデアリマス

○元田委員長 政府ハ承知サレマシタ
○赤間委員 只今質問シテ宜イカ、或
ハ大臣ニ質問致シマスカ、ドチラデモ
宜イト思ヒマスガ、兎ニ角御尋ネ致シ
マス、家屋稅ノ問題デアリマス、家屋稅
ハ、市街地ノ家屋稅ハ之ヲ徵收スルノ
ニ餘リ困難ハナイト思ヒマスガ、郡部
ニ於ケル家屋稅ハ賃賃價格ノ標準ハド
ウ云フ風ニシテ定メル御見込デアリマ
スカ、郡部ニ於ケル舊家デアッテ、既ニ
家産ガ傾イテ沒落シテ居ル家、サウ云
フ家ハ、家ハ隨分大キイガ、借ソンナ
家ヲ人ニ貸サウトシテモ借手ハナイ、
幾ラカ金ヲ附ケナケレバ借手ガナイト
云フ家デアアル、ソレヲ賃賃價格ノ標準
ヲ定メヤウトスレバ、或ハ大キイ家ダ
カラ高イ標準ヲ定メルコトニナリハシ
ナイカ、沒落シ掛ケタ家ニ以テ行ッテ
幾ラカ金ヲ附ケナケレバ借手ノナイ家
ニ、高イ等級ヲ附ケルコトニナリマス
レバ是非非常ニ困難デアアル、市街地ノ

方ハサウ云フ問題ハアリマセヌガ、田
舎ノ方ニ行ケバ殆ドサウ云フ所ガザラ
ニ在ル、サウ云フ家屋稅ナドト云フコ
トガ全體ノ根本問題ニナリマスガ、郡
部ノ方ハ家屋稅ヲ設クルコトハ非常ニ
困難ダト考ヘマス、政府ハドウ云フ風
ニ標準ヲ定メル御考デアリマスガ、一
寸御伺致シマス

○潮政府委員 家屋稅ヲ設クルカ設ケ
ヌカト云フコトニ付キマシテハ、他ノ
機會ニ於キマシテ大臣アタリカラ御説
明ヲ致スダラウト思ヒマス、既ニ御説
明ガシテアリマス、如何ニシテヤルカ、
又農村ハ困ルダラウト云フコトハ私カ
ラ一應御答シテ置キタイ、賃賃價格ノ
算定ト云フコトハ御意見ノ通り都會地
ヨリ農村ハ餘程ムヅカシイデアラウト
思ヒマス、決シテ都會ト同様ニ容易ナ
程度デ農村ノ賃賃價格ガ定メラレヤウ
トハ存ジテ居リマセヌ、併ナガラ此度
ノ表ニ於キマシテハ都會地ト云ハズ、
農村ト云ハズ、調査委員ナルモノヲ設
ケマシテ、村デ申シマスナラバ或ハ部落
部落カラデモ選出致サセマスカ、サウ
シテ一種ノ標準價格ト云フモノヲ設ケ
テ、ソレニ比準シテ賃賃價格ヲ持寄ッテ
相談シテ、サウシテ村ノ賃賃價格ガ定
レバ、今日デ申シマスル郡ノ區域々々デ
郡ノ調査委員ヲ設ケ、ソコデ何分ノ調
査委員デ賃賃價格ノ統一ガヤレルノデ
ヤナイカ、併シソレデハ尙ホ各郡各村
ノ評價ニ付テ粗漏ガアッテハナリマセ

ヌカラ、場合ニ依テハ矢張縣デモ少數
ノ人數ノ調査委員ヲ設ケテ、矢張ソコ
デ縣内ノ統一ヲ取ラセルコトニシテ宜
イト思ッテ居リマス、今御質問ノ中ノ農
村ニ於テハ實際舊家ナドデアッテ困ル
デヤナイカト云フ御話デアリマスガ、
私共モ實ハ農村ノ出デゴザイマシテ、
多少農村ニ縁故ガアリマスガ、考ヘマ
スノニ農村デ賃賃價格ヲ設ケルコトハ
今ノヤウナ事情デ非常ニ困ルト云フ點
ハ、是ハ寧ロ例外デヤナイカ、農村ニ於
キマシテモ、大體此價格ノ基礎トナル
ベキ家ノ善イト惡イト云フコトハ貧富
ト申シマスルカ、生活ト申シマスルカ、
其程度ニ應ジタナラバ大概大丈夫ナン
デアリマス、中ニハ舊家ナドデ要ラザ
ル大キナ家ニモ住ハナケレバナラスコ
トヲ餘儀ナクサレルト云フ者モアリマ
セウケレドモ、是ハ極メテ例外デアリ
マシテ、大キイ問題ヲ解決スルニハ其
所ヲ顧慮シテハ出來ナイト思ヒマス、
他ニ例ヲ取ッテハ如何デアアルカト存ジ
マスケレドモ、斯ウ云フ舊家ガ廣イ宅
地ニ住フト矢張宅地租ハ同様取ラレ
ル、若シ家屋稅ヲ取リマシテモ特別ノ
事情デ貧困ニ依テ拂ヘナイト云フコ
トニナレバ、府縣制ノ規定ヲ使ヒマシ
テ特殊ノ減免デモ致サウト存ジマスケ
レドモ、今御話ニナリマシタ點ハ、謂ハ
バ例外ノ場合デアリマシテ、家屋稅ヲ
置クトスレバ、大抵ハ貧富ノ程度ニ應
ジタ負擔ノアルモノト見テ居ッテ宜シ

シテ徵收セシメル御見込デアリマス
カ、此府縣ニ於ケル四百六十五萬一千
圓、竝ニ市町村ニ於ケル四百十三萬九
千圓、斯様ナモノハ如何ナル根據カラ
出テ居ルカ、其計算ニ基イタ其課目概
算ヲ御示シ願ヒタイ、此表ハ大正十四
年度ガ出シテアリマスガ、各府縣ノ決
議ニ依リマシテソレニ零細ナモノヲ拾
ヒ上ゲニナッテ居ルト思ヒマスガ、其課
目ガ分リマシタラ課目及ビ金額ニ付テ
御調べガ願ヒタイノデアリマス

イノデハナイカト思ヒマス

○元田委員長 大體細カイ質問ハ濟ン
ダヤウデゴザイマスガ、マダ大藏大臣
ガ出席サレマセヌ、ソレ故ニ先刻出席
スルカセヌカ——唯茫然トシテ居ルヤ
ウナ行キ方ハ致シタクナイト云フノ
デ、午後一時カラ必ズ出席スルヤウニ
ト云フコトデ交渉ヲ纏メマシタカラ、是
デ午前ハ散會致シマシテ、午後一時カ
ラ續會ヲ開キマス

午前十一時十三分休憩

午後一時二十九分開議

○元田委員長 開會致シマス、三士忠
造君

○三士委員 今回ノ稅制整理ハ國稅地
方稅ニ互テ、一般的ノ整理ヲ行ハレル
ノデアリマシテ我國ノ立憲政治始
ツテ以來ノ廣汎ニ互ル制度デアリ
マス、隨テ改廢若クハ新設スベキ制
度モ頗ル多イノデアリマスカラ、各
稅目ニ付キマシテ幾多質問致シタイ事
ガアルノデアリマスケレドモ、私ハ極
ク大體ノ質問ヲ致シテ、後ノ各部分ノ
事ニ付キマシテハ、孰レ同僚諸君ヨリ
質問ガアルコトデアラウト思ヒマス、
先ヅ私ハ稅制整理ノ先決問題ト致シマ
シテ、大藏大臣ハ歲入ニ増減ナキ範圍ニ
於テ整理ヲサレタト云フコトヲ、本議
場デモ屢聲明サレマシタ、又世間ニモ
發表サレタ、書類ニ於キマシテモ此事
ヲ聲明サレテ居ル、然ルニ現内閣ノ諸

公、殊ニ濱口大藏大臣ガ在野時代ニ於
キマシテ、多年財政ノ緊縮ヲ說カレ、ソ
レカラ國民負擔ノ輕減ヲ高調サレタコ
トハ、世間公知ノ事實デアリマス、隨テ
濱口大藏大臣ガ局ニ當ッテ、稅制ノ整理
ヲセラルルト申セバ、相當程度ノ減稅
ヲサレル、斯ウ云フコトヲ國民多數ハ
期待シテ居ッタコト考ヘルノデアリ
マス、然ルニ減稅ハ少シモセズシテ、寧
ロ計算ノシヤウニ依リマシテハ増稅ニ
ナッテ居ルト思ヒマス、増稅ニナッテ居
ル點ハ後トカラ指摘致シマスガ、少ク
トモ減稅ニナッテ居ナイ、而シテ在野時
代ニアレ程ノ聲明ヲ棄テテ、サウシテ歲
入ニ増減ナキ範圍ニ於テト云フダケ
デ、此事ニ付キマシテハ餘リ説明ヲサレ
テ居ナイヤウデアリマス、唯同僚ノド
ナタカノ質問ニ對シマシテ、現下ノ財
政上減稅ハサレヌ、故ニ已ムヲ得ズ減
稅計畫ヲ立テズシテ、歲入ニ増減ナキ
範圍ニ於テスルノ外ハナカッタト云フ、
極メテ簡單ナ御説明デアリマシタガ、
私ハサウ云フ所ノ御説明デハ、濱口君
ノ是マデノ言責ニ對シテ濟マヌト思フ
ノデアリマス、少クトモ斯ク々々ノ財
政狀態デアッテ、サウシテ吾々ハ多年斯
様ナ事ヲ主張シタケレドモ、遺憾ナガ
ラ是ハ行ハレナイ、其行ハレナイト云
フ理由ヲ相當國民ノ前ニ聲明シテ、サ
ウシテ了解ヲ求メテデナケレバ、歲入
ニ増減ナシト云フコトハ申サレナイト
思ヒマス、サウ云フ御説明ガ是マデノ

機會ニアリマセヌカラ、色々此事ニ付
キマシテ御質問ヲ致シタイ、是マデア
レ程強ク主張サレテ居ッタ減稅論ヲ抛
棄シテ、歲入ニ増減ナキ範圍ニ於テ、稅
制整理ヲスル外ナカッタト云フ、其財政
上ノ理由ヲ一應承リタイノデアリマス
○濱口國務大臣 只今ノ御質問ニ御答
シマスガ、御答ヲスルニ先ッテ——是ハ
言葉ノ使ヒ方デアリマスケレドモ、一
寸私只今ノ三士君ノ御用ヒニナリマシ
タ言葉ニ對シテ、一言政府ノ考ヘテ居
リマス所ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマ
ス、今回ノ稅制整理ハ歲入ニ増減ナカ
ラシムル範圍ニ於テヤッタノデアアルト
云フ政府ノ説明デアッタガト言ハレマ
シタガ、大體ニ於テソレデ宜シイノデ
アリマスケレドモ、私ガ是マデ用ヒマ
シタ言葉ハ、總テ歲入ニ於テ著シク増
減ナカラシムル範圍内ニ於テト云フ言
葉ヲ用ヒテ居リマスカラ、是ハ特ニ申
上ゲテ置キマス、ソレカラ只今ノ御話
ヲ伺ッテ居ルト云フト、私ガ在野時代ニ
於テ減稅論ヲ唱ヘタニ拘ラズ、此度ノ
整理案ニ依レバ歲入ニ著シク増減ノナ
イヤウニ出來テ居ル、即チ減稅ニナッテ
居ナイト云フノハドウ云フ理由デアアル
カ、財政上已ムヲ得ナイト云フ簡單ナ
説明デハ分リ兼ねルカラ、今少シ詳細
ニ——斯ウ云フ意味ノ御質問デアッタ
ト思ヒマス、如何ニモ私共ハ在野黨時
代ニ於テ、減稅的ノ整理案ヲ出シタコ
トゴザイマス、衆議院ノ壇上ニ立ッテ

——其減稅ノ金額ハ四千八百萬圓位デ
アッタト考ヘマス、減稅案ヲ出シテ私自
ラ提案ノ理由ヲ説明ヲシマシタ、ソレ
ハドウ云フ時デアッタカト申セバ、御承
知ノ通り華盛頓會議ガ終リマシテ、海
軍ノ制限條約ガ出來テ、海軍ニ於キマシ
テハ主力艦ノ製造ヲ止メマシタ結果ト
シテ、某ノ茲ニ金ガ浮イテ來タ、陸軍ノ
方ニ於テハ軍備制限條約ノ範圍外デア
リマシタケレドモ、海軍ガ既ニ軍備ノ
縮小ヲヤル以上ハ、陸軍モ亦自發的ニ
此整理ヲ行ヒマシテ、兩方合セテ若干
ノ金額ガ浮イテ來タ時デアッタノデア
リマス、其時ニ於テ私共ハ此軍備縮小、
整理ニ依ル所ノ金額ヲ大體ニ於テ國民
ノ負擔ノ輕減ニ充テルノガ適當デア
ルト云フ主張カラ致シマシテ、其主張ニ
基イタ幾多ノ減稅案ヲ出シタコトハ是
ハ事實デアリマス、若シ其時ノ狀態ガ
今日マデ大體ニ於テ繼續致シテ居リマ
シタナラバ、今日吾々ハソレヲ唱ヘタ
デアリマセウ、然ルニ屢是ハ申上ゲル
コトデゴザイマスガ、十二年ノ九月ニ
起リマシタ大震災、此大震災ノ結果ト
シテ我國ノ財政ニハ容易ナラザル負擔
ヲ二重ニ増シタノデアリマス、即チ一
面ニ於テハ歲入ノ減少トナリ、他面ニ
於テハ歲出ノ増加トナッタ、歲入ノ減少
ノ方面ハ震災後歲ヲ經ルニ從ヒマシテ
幸ニ致シテ漸時回復ニ向ッテ居リマス
ガ、歲出ノ増加ノ方ハ依然トシテ舊態
ヲ維持致シテ居ル、ソレハ三士君モ能

ク御承知ノコトデアリマス、帝都復興諸費、震災復舊諸費、ソレヲ合セマシテ、大正十四年度ニ於テ二億四千六百萬圓、十五年度ノ豫算ニ於テ二億二十萬圓、是ダケ歳出ガ震災ノ結果増加シテ、今月マデ繼續ヲ致シテ居リマス、此震災善後諸費ノ財政上ニ及ボシタ負擔ト云フモノハ、獨リ此十五年度ヲ以テ滿了致シマセヌ、帝都復興費ノ方ハ十七年度ニ於テ終リヲ告ゲルコトニナッテ居リマスケレドモ、震災復舊諸費ノ方ハ遠ク二十三年度デアリマシタカ、二十四年度デアリマシタカ、其邊マデ負擔ヲ殘シテ居ルノデアリマス、此震災ノ結果トシテ、我が國ノ財政狀態ハ震災前トハ非常ナル激變ヲ告ゲマシタ、サウ云フ狀態ノ下ニ於テ、如何ニ國民ノ負擔ノ輕減ヲ圖リタク考ヘマシテモ、是ハ實際ニ於テ不可能ノコトデアリマス、御承知ノ通り十四年度ノ豫算ノ編成期ニ於テ、行政財政ノ整理緊縮ヲ行ヒマシタガ、其當時ハ吾ミ力ノアラン限リヲ盡シテ當時ノ狀況ニ照シテ、最善ノ努力ヲ致シタ積リデアリマスケレドモ、其金額ハ一般會計ニ於キマシテ、一億五千二百萬圓、而モ其中ノ恒久財源トシテハ七千五百萬圓デアッタノデアリマス、アノ場合ニ於テ何故ニ行政財政ノ整理緊縮ヲヤッタカト申シマスレバ、ソレニハ幾多ノ目的ガアッタコトハ無論デアリマス、ケレドモ、財政上カラ申シマスレバ、アノ場合ニ於テ行政財政ノ整理緊

縮ヲ圖ラナカッタナラバ、必ズヤ近キ將來ニ於テ、大ニ増稅ヲヤル必要ガ起ツテ來ルデアラウ、然ラズンバ、公債ノ發行額ヲ大ニ増加スル必要ガ起ツテ來ルデアラウト云フコトハ、當時ノ財政計畫上ニ於テ寧ロ明瞭デアッタト思ヒマス、ソコデアノ當時ノ財政上ノ狀況カラ考ヘマスト云フト、帝國ノ財政ノ其時ノ現狀ニ於テハ、行政財政ノ整理ヲヤラナカッタナラバ、増稅力、然ラズンバ、公債ノ大増發ガ來ル、其ニツナガラ、之ヲ避ケントスルナラバ何ト致シテモ、財政ノ整理緊縮ヲヤラヌケレバナラス、然ルニ其當時ノ事情ニ鑑ミテ、増稅ハ到底出來ナク、而モ其増稅タルヤ、少々ノ増稅デハ濟マヌ狀態デアッタ、何ト致シマシテモ大増稅ヲ避ケンケレバナラヌ、然ラバ公債ノ募集額ヲ増加スルト云フコトハドウカト申シマスレバ、是亦同様デアリマス、其當時ノ經濟界ノ狀態ニ於テ、公債ノ發行額ヲ大ニ増加致シマシテ、經濟界ヲ壓迫スルト云フコトハ出來マセヌ、是ニ於テカ、増稅ヲモ避ケンケレバナラス、募債ヲモ避ケンケレバナラス、其ニツテ避ケンケ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲ニハ、ドウ致シマシテモ行政財政ノ整理緊縮ヲヤル外ニ執ルベキ途ガナカッタ、是ハ其當時ニ於テ私モ確カ、議會ニ於テ申述ベタコトデアリマス、能ク三土君ニ於カレテモ御諒承ノコトデアラウト思ヒマス、其見地ニ基イテ行ッタ所ノ行政財政ノ

整理緊縮、ニ依テ増稅ヲ防ギ、公債ノ發行ヲ防グコトガ出來マシタガ、國民負擔ヲ輕減スルノ程度ニ於テハ洵ニ遺憾デアアル、而シテ此行政財政ノ整理緊縮ノ結果ト致シマシテ、帝國ノ財政ノ狀態ハ大體ニ於テ其基礎ニ、餘程鞏固ヲ加ヘタト私ハ確信シテ居リマス、財政ノ基礎ハ鞏固ニナリマシタケレドモ、一面ニ於テ御承知ノ通り、年來ノ懸案デアリマシテ、急イデ解決ヲ要スルモノガ少カラヌデアリマス、又年來ノ懸案デアリマセヌニ致シマシテモ此際緊急已ムヲ得ナイ所ノ施設ヲ要スルモノガアルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレヲ最小限度ニ切詰メテ十五年度ノ豫算ヲ編成致シタトシマシテモ、此場合減稅のノ整理ヲヤル餘地ハナイデアリマス、洵ニ是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマス、前議會ノ當時ニ於テ、時ノ加藤總理カラ議會ガ終ツタナラバ、此次ハ稅制ノ整理ヲヤルト云フ聲明ヲ致シマシタ、私モ同様ノ聲明ヲ致シマシタ、其時衆議院カ貴族院カ議員カラ、稅制整理ヲヤルト云フコトヲ政府ハ聲明シタガ、減稅的ノ整理ガ出來ルカト云フ御質問ガアリマシテ、私ハ明ニ御答ヲ致シテ置イタ、是ハ三土君モ同ジ政府部内ニ居ラレタ時ノコトデアリマス、私モ自分ノ考ト致シテハ、帝國ノ財政ノ現狀ニ照スニ、大ニ國民ノ負擔ヲ輕減スル、即チ減稅的ノ整理ヲヤルト云フコトハ覺束ナイト

思フ、大體ニ於テ歳入ニ著シキ増減ノナイ範圍内ニ於テヤル外ハナイト思フ、併シ國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトハ出來得ルナラバ、政府モ希望スル所デアアルニ依テ、何レ、整理ノ具體的ノ案ガ出來、ソレニ依テ財政計畫ヲ立テル時ニ於テ、餘裕ガアルナラバ試ミタイト云フ考ヲ持ツテ居ルガ、今日減稅的ノ整理ガ出來ルカト云フ御質問ニ對シテハ、大體ニ於テ困難デアルト答ヘル外ハアリマセヌト云フコトヲ私ハ二回ナラズ數回御答シタコトヲ明ニ記憶シテ居リマス、大體財政ノ狀態ハ右ノ通りデアリマス、是ハ能ク豫算ヲ御覽下サイマシテモ御諒承ヲ得ルコト考ヘマスガ、大分緊縮方針ヲ以テ編成致シタ豫算、其何レヲ削除シテ然ルベキヤト云フコトニ付テモ、殆ド是ハ削除スベキモノガナイヤウニ私ハ自ラ考ヘテ居ル、此際ニ於テ減稅的ノ整理ハ是ハ出來ナイコトデアラウト思ヒマス、又出來ナイノデアリマス、在野黨ノ時ノ主張ト變ッタト云フコトハ、此震災ト云フ非常ノ事件ガ途中ニ這入ッテ、是ガ爲ニ年々二億圓内外ノ負擔ヲ新ニ國庫ニ増加セシメルト云フコトニ依テ、震災前ニ唱ヘタ事柄ガ實行出來ナクナッタト云フコトハ、洵ニ遺憾ト思ヒマスガ、實際上已ムヲ得ナイコトト思ッテ居リマス

○三土委員 私モ財政ノ事情カラ考ヘマシテ、又國家急施ヲ要スル事業等ヲ

考慮シテ見マスト云フト、今日ニ於キマシテハ、大シタ減稅ヲ行フト云フコトハ難カシイト見テ居リマス、併ナガラ濱口君ノ在野時代ニ言ハレマシタノハ幾分強イ主張デアッタ、濱口君ガ減稅論ヲ最モ強ク高調サレタノハ只今御話ノ通り、加藤友三郎内閣ノ時代デ、即チ華盛頓會議ノ結果ニ依テ海軍ノ縮小ヲ致シ、同時ニ自發的ニ陸軍ノ縮少ヲ致シ、ソコデ財政上ニ非常ニ餘裕ヲ生ジマシタ場合デ當時ノ政府ノ計畫ト致シマシテハ此餘シ得タル財源ヲ以テ、減債基金ノ復舊——多分四千二百萬圓ト思ヒマスガ、之ヲ復舊シタ、ソレカラ教育費ノ國庫負擔額ヲ三千萬圓増加致シタ、ソレカラ營業稅其他デ千九百萬圓ノ減稅ヲ致シタ、即チ四千二百萬圓ト三千萬圓、ソレカラ千九百萬圓、九千萬圓餘財政上ノ處置ヲ致シタ、吾ミハ其時分ニ是以上ノ減稅ヲセヨト云フコトハ無理デア

ル、其當時ノ財政狀態カラ考ヘ、國家ノ施設スベキ事業ノ關係ヲ見マシテ、無理デアルト見テ居ッタノデアリマス、然ルニ濱口君ハ之ニ満足セラレズシテ、此際ニ思切ッタル減稅ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ非常ニ高調力説サレタノデアリマス、私ハソレハ無理デアルト思ッテ居ッタ、今日震災ト云フ不意ノ出來事ガ起リマシテ、是ガ爲ニ國庫ノ收入ハ一面ニ減ジ、歳出ガ非常ニ激増シタト云フコトハ、私共モ認メマス故ニ吾ミハ昨年ノ行政整理ニ際シマシテモ、餘程思切ッタル整理ヲスルコトニ衷心カラ賛成致シタ、是レアルニ非ズンバ財政ノ基礎立タズ、或ハ場合ニ依テハ増稅モシナケレバナラヌ、併シ増稅ナドヲスベキ場合デナイト云フノデ隨分思切ッタル行政整理ニ賛成ヲ致シタ、當時私モ政府ノ一部ニ居リマシテ、濱口大藏大臣ノ御考ヲ諒ト致シマシタ、寧ロ援助スル積リデ思切ッタル整理ヲ致シタコトハ御承知ノ通りデアリマス、併シ此昨年ノ行政整理ト云フモノハ、決シテ國ノ冗費ヲ省イタト云フノデハアリマセヌ、非常ニ必要ナルモノヲ廢メタノデアリマス、ドノ官廳ノ事業ニ致シマシテモ、一トシテ冗費ヲ省イタト云フモノハアリマセヌ、私共ノ關係致シテ居リマシタ農商務省ノ如キハ、是ガ爲ニ生産上、經濟上、ドレ程ノ損ヲシタカモ知レナイ、併シ財政ノ辻褄ガ合ハヌカラ已ムヲ得ズ御賛成致シタ次第デアリマス、サウ云フ工合デアリマシテ、私共ハ加藤友三郎内閣ノ當時カラシテ、思切ッタル減稅ヲスルト云フコトハ是ハ無理デアアル、濱口君ハ在野時代カラア、云フコトヲ言ハレテ居ルガ、何レ濱口君ハ大藏大臣ニナラレヤウガ、其時分ハ困ラレハセヌカト實ハ私共思ッテ居ッタノデアリマス、其時分ニ濱口君ガドウ云フヤウニ言ハレタカト云フト、私ハ記憶モ致シテ居ルノデアリマスガ、其時分ニ速記ヲ書イタモノヲ見マスト、隨分思切ッタル強イ論ヲ言ハレ

タノデアリマス、丁度海軍ノ縮少、陸軍ノ縮少ニ際シテ、濱口君ガ減稅案ヲ提案サレ、憲政會ヲ代表サレテ本議場デ述ベラレマシタ、其速記ガ茲ニ濱口君ノ門下ノ人ニ依テ編纂サレテ書物ニナツテ居ルノデアリマス、其時分ニ濱口君ハ我國ノ増稅ノ歴史ヲ概略述ベラレマシテ、増稅ハ主トシテ日清戰役以後デアル、日清戰役以後大正十二年迄ノ間ヲ増稅ガ四億三千七百萬圓、其間ニ多少ノ減稅シ整理ヲ致シマシタノヲ差引キマスト云フト、三億九千七百萬圓ノ巨額ニ上ッテ居ル、而シテ斯ウ云フコトヲ言ハレタノデアリマス「斯ノ如キ國家非常ノ場合ニ際シマシテ、普通ノ場合デハ到底耐ユルコトノ出來ナイ所ノ過重ナル負擔ヲモ快ク負擔致シタト云フコトハ、即チ我國民ノ愛國心ノ旺盛ナル結果デアリマシテ、洵ニ我が國民性ノ特長ト致シテ世界各國ニ向ッテ誇ルニ足ルベキ美點デアルト確信スル、併ナガラ非常ノ場合デアッテ初メテ發揮スベキ所ノ愛國心ト云フモノハ、平常ノ場合ニ於テ濫用シテハナリマセヌ、愛國心ノ濫用ハ洵ニ慎ムベキ事デアリマシテ、爲政者ノ心スベキハ正ニ此點ニ在ルト私ハ思ヒマス、殊ニ加藤總理大臣ノ憂慮サレテ居リマスル事、最近世界大戰ノ結果ト致シマシテ國民思想ノ變化頗ル注意スベキモノアル今日ノ場合、政治家ガ自分ノ無能若クハ怠慢ヲ掩ハンガ爲メ、其必要モナキニ拘ラズ

國民ノ愛國心ヲ濫用致シマシテ、國家緊急ノ場合ニ負擔セシメタル租稅ノ輕減ヲ怠ルガ如キハ、斷ジテ國ヲ治メ民ヲ率ユル所以ニアラズト思ヒマスレト極言サレテ居リマス、モウ一度申上ゲマスト云フト、今日ノ場合政治家ガ自分ノ無能若クハ怠慢ヲ掩ハンガ爲メ、其必要モナキニ拘ラズ國民ノ愛國心ヲ濫用致シマシテ、國家緊急ノ場合ニ負擔セシメタル租稅ノ輕減ヲ怠ルガ如キハ、斷ジテ國ヲ治メ民ヲ率ユル所以ニアラズト思ヒマスレ此處マデ極論サレタノデアリマスルガ、今日迄ノ増稅ノ歴史ハ濱口君ガ在野時代ニ言ハレタ通りデアリマス、而シテ軍備ノ縮少、海軍ノ行政整理ハ其後引續イテ行ハレマシタ、濱口君ガ最モ財政ノ膨脹ヲ非難サレマシタ當時ノ陸海軍ノ費用ト云フモノハ、隨分巨額デアリマス、國庫ノ歳出ノ半バヲ占メテ居ッタノデアリマス、即チ大正十年ニハ歳出總額十五億六千二百萬圓ノ中デ陸海軍費ハ七億六千五百萬圓デアッタノデアリマス、然ルニ今日此國庫ノ歳計ハ大正十年ヨリハ上ッテ居リマス、大正十五年度ノ豫算ハ十五億九千八百萬圓デアリマシテ、之ニ對シテ陸海軍ノ費用ハ四億三千九百萬圓デアリマス、即チ最モ多キニ達シテ居リマシタ、大正十年ニ比較致シマスト云フト、陸海軍費ハ三億二千六百萬圓減ジテ居ルノデアリマス、陸海軍費ニ於テ三億二千六百萬圓ノ減少デアリマス

ケレドモ、而シテ其増税ノ歴史ハ濱口君ノ言ハレタ通り、主トシテ日清日露ノ戰爭ノ際ニ行ハレマシテ、又其後ノ戰後經營ニ際シテモ行ハレタノデアリマシテ、先ヅ陸海軍ノ計畫ヲ立テル爲ニ増税致シタト申シテ宜シイノデアリマス、其陸海軍ノ經費ガ三億二千六百萬圓ト云フ程減ジテ居ル際ニ於テ税制整理ヲスルト云ヘバ、此濱口君ノ前ニ言ハレタル議論カラ言ヘバ、當然少クトモ數千萬圓ノ減税ハシナケレバナラヌ、斯ウ私ハ國民ハ思ッテ居タダロウト思フ、私ハ吳々モ申シマスガ、今日減税ヲサウ急激ニスルコトガ困難デアルト云フコトハ能ク知ッテ居リマス、唯前ニ言ウテ居タノガ無理デアル、前ニ少シ言ヒ過ギタト私ハ思フ、今日減税ガ行ハレヌト云フコトハ只今仰シヤッタ通りデアリマシテ、減税ガ出來ヌノガ私ハ當然デアルト思フ、サウ思ッテ居ルノデアリマスガ、餘リ前ニ言フタコトガ強イノデアリマス、濱口君ノ前ノ御説ニ從フト云フト、今日ノ濱口君ニ對シ、政治家ガ自分ノ無能若クハ怠慢ヲ掩ハンガ爲ニ、其必要ナキニ拘ラズ國民ノ愛國心ヲ濫用シテ、サウシテ租税ノ負擔ノ輕減ヲ怠ルト云フコトハ、斷ジテ國ヲ治メ民ヲ率ユル所以ニアラズ、斯ウ非難攻撃サレテモ私ハ返ス言葉ハアルマイト思フ、殊ニ又斯ウ云フ事マデ言ハレタノデアリマス、重税ノ鎖ガ國民ノ手足ニ絡ミ付イテ、如何ニ

其自由ノ活動ヲ妨ゲテ居ルカト云フコトヲ思ハナイト云ウテ、其當時ノ政府ヲ攻撃サレタノデアリマス、其當時加藤友三郎內閣ノ此震災前ノ我國ノ經濟狀態、財政狀態ト比較致シマシテ、今日ノ方ガ寧ロ私ハ國民ノ負擔ハ重クアリハセヌカト思フ、今以テ減税スルコトガ出來ヌト云フコトハ大體諒承致シマシタガ、減税スルコトガ出來ヌト致シマスルト云フト、矢張前ニ述ベマシタヤウナ重税ノ鎖ガ國民ノ手足ニ絡付イテ、自由ノ活動ガ出來ヌト云フコトヲ御認ニナルカドウカ、ソレヲ承リタイ○濱口國務大臣 御答シマス、今日ノ我財政ノ狀態ニ於テ減税ガ出來ヌト云フコトヲ御認ニナッテ居ルヤウデアリマス、若シ減税ガ出來ルニ拘ラズ、何故減税的ノ整理ヲシナカッタカト云フ御質問デアルト、是ハ十分ニ御答ラシマス、減税ノ出來ナイト云フコトヲ篤ト説明ヲ申上グルコトガ出來マスガ、ドウモサウデナイヤウデアリマス、三土君モ減税ハ出來ヌト云フコトヲ御認メニナッタ上ノ御質問デアリマス、スルト前ノ大正十二年ノ豫算ヲ議スル時ノ議會デ私ガ減税論ヲ主張致シタコトガ、言過ギデアッタト云フ御非難ニナル、是ハ御質問デハナイ、唯繰返シテ申上ゲテ置キマスガ、其中間ニ於テ今日ノ財政上尙ホ二億圓以上ヲ算スル所ノ此震災ノ善後費ノ負擔ガ殘ッテ居ルト云フコトハ能ク御記憶ヲ願ヒタイ、只今其

當時ノ速記録ヲ御朗讀ニナリマシタ、其通り申シマシタ、其當時ハ御説ノ通り我國ノ増税ノ沿革ヲ述ベタ、増税ノ由ッテ來ル所ハ主トシテ戰後經營ノ爲メ、即チ軍備ノ擴張ニ因ル充實ノ爲メ、今一ツハ戰費支辨ノ爲メ、其二ツノ爲ニ増税ガ行ハレテ來タ歴史ヲ有ッテ居ルニ依テ、其軍備ヲ條約ニ依テ制限ヲシ、又之ニ伴ッテ自發的ニ制限ヲシタコトニ依テ生ジタル歲計ノ餘剩金ハ、之ヲ減税ニ充ツルノハ至當デアルト云フ議論ヲシタノデアリマス、私ハソレガ相當デアルト今日モ信ジテ居ル、ソコデ其時ニ只今御朗讀ニナラナカッタケレドモ此際減税ノ必要ガアルト云フコトヲ申述ベテ、サウシテ此際減税ヲ斷行シナカッタナラバ、恐クハ將來ニ向ッテ減税ノ機會ヲ失フデアラウ、今日ハ絶好ノ機會デアル、今ヤラナケレバ出來ヌヤウニナルゾト云フコトヲ私ハ申シタコトヲ今日モ能ク記憶シテ居リマス、所ガ其中間ニ地震ガ起リマシテ、果シテ出來ナクナッタノデアリマス、尙ホ一言申シテ置キマスコトハ、國民ハ重税ノ負擔ト云フ重イ鎖ガ足ニ絡付イテ、是ガ爲ニ商工業界、海外ノ販路擴張ト云フコトニ向ッテノ活動ヲ隨分制限サレテ居ルト云フコトヲ申シタコトモ能ク記憶致シテ居リマス、只今速記録ヲ持ッテ居リマセヌカラ明瞭ニ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、主トシテ營業税ニ對スル非難ヲ申す時ニ述ベタ言葉

デアルヤウニ私ハ記憶致シテ居リマス、其心持デ申述ベテ居ッタ、即チ現行ノ營業税法ト云フモノハ外形課税標準ノ租税デアルニ依テ、商工業カラ生ズル所ノ國民ノ所得ニ比例シナイ、負擔ノ公平ヲ得テ居ナイ、斯ウ云フ税法ノ下ニ於テハ國民ガ働クニ非常ニ不便デアリ困難デアル、ソレ故ニ營業税法ト云フモノハ一先ヅ之ヲ廢止致シサウシテ新ニ純益ニ相應シタ所ノ、營業收益税トハ申シマセヌデシタ、其名稱ハ此頃付キマシタカラ、其當時營業收益税ト云フ名稱ハ豫期シテ居ナカッタケレドモ、純益ニ比例シタ所ノ新ナル税ヲ設ケテ、商工業者ニモ應分ノ負擔ヲサセルガ宜シイ、但シ其立案ニ至ッテハ是ハ衆議院ニ於テスルヨリモ、政府當局ヲシテ之ヲ爲サシムル方ガ便利デアルカラ、自ラハソレヲ提案ヲシナイガ、政府ハ提案ヲシテ貫ヒタイト云フコトヲ申述ベテ置イテ、此營業税法ニ對スル非難ヲ致シタコトヲ私ハ記憶ヲ致シテ居リマス、其觀念ヲ以テ申述ベタ言葉デアルト思ヒマス、大體其時分ニハサウ云フ考ヲ私ハ有ッテ居ッタ、營業税法ニ對スル所ノ考ハ今日モ變ル所ハナシテハ、營業税法ハ其通り整理ヲ致シテ、御協賛ヲ仰イデ居ル次第デアリマス、甚ダ失禮デスガ、最後ノ御質問ヲモウ一遍御述ベテ願ヒタイ、私失念致シマシタカラ……

○三土委員 言ハレタ其當時ニ於キマシテハ、重税ノ負擔ガ國民ノ手足ニ絡付イテ自由ノ活動ガ出來ナイ狀態ニ在ルト云フコトヲ認メラレタ、其當時ト今日ト經濟界、財界ヲ通ジテサウ變リハナイト思ヒマス、隨テ此濱口君ガ非常ニ心配サレタ重税ノ鎖ガ國民ノ手足ニ絡付イテ自由ノ活動ガ出來ヌト云フ狀態ハ、今日モ同ジカドウカト云フコトデアリマス

○濱口國務大臣 サウ云フ虞ガアリマス、故ニ此度税制ノ整理ヲヤッタノデアリマス、即チ同ジ目方ノ負擔デアリマシテモ、其負擔ノ分配ガ適正デナイト云フト其苦痛ハ非常ニ重ク感ズルノデアリマス、例ヘバ今申シマシタ營業稅ノ如キハ其主ナルモノデアラウト思ヒマス、ソレ故ニ此度營業稅法ノ廢止ヲ致シ、サウシテ新ニ營業收益稅ヲ設ケ、商工業者ヲシテ其負擔能力ニ比例シタル所ノ負擔ヲ爲サシムルト云フコトニ改メントスルノモ共爲デアリマス、而シテ營業稅ノ總額モ元ノ現行ノ營業稅ノ下ニ受ケル所ノ負擔ト、此度政府ノ提案ヲ致シマシタ所ノ營業收益稅ニ依テ受ケル所ノ負擔トノ間ニ、數百萬圓ノ輕減ヲ見ルト云フ案ヲ出シテアリマス、之ニ依テ商工業者ノ負擔ハ從前ニ比シテ相當ニ輕減ヲサレタコトニナルト思ヒマス、單リ其金額ニ於テ然ルノミナラズ、其分配ノ割合ニ於テ、又負擔ヲ輕減セラレタト云フコトニナルト信

ジテ居リマス、ソレカラ所得稅ニ付テモ此會社ノ基礎ガ現在ノ制度デアルト云フト鞏固ニナルコトガ出來ナイ、產業ノ發展ニ差支ガアルト云フコトヲ慮リマシテ、豫テノ懸案デアッタ所ノ法人ノ留保所得ニ對スル累進課稅ヲ廢シテ、比例課稅ト致シマシタ、而モ最低率ノ比例課稅ト致シタ、ソレカラ第一種ノ所得ト第二種ノ所得トノ重複課稅ヲ除ク、是モ亦會社ノ負擔ヲ輕カラシムルト云フ結果ニナリマス、而シテ斯ノ如キ改正ハ事業ノ基礎ヲ鞏固ナラシメ、產業ノ發展ヲ助成スルト云フコトニナリマス、ソレデ、會社ノ將來ニ向ッテノ事業ノ發達ト云フコトニ對シテハ相當ノ私ハ貢獻ヲ爲スコトガ出來ヤウト考ヘテ居リマス、財政ノ狀況カラ致シマシテ歳入ノ總額ニ於テハ著シキ増減ハナイ、是ハ震災ヲ受ケタル今日ニ於テ己ムヲ得ナイ事デアリマス、唯其範圍內ニ於テ負擔ノ均衡ヲ圖ル、是マデ比較的ニ重カッタモノハ之ヲ輕クスル、比較的ニ輕イト認メテ居ッタモノニ對シテハ稍之ヲ重ク致シ、ソレニ依テ歳入ノ缺陷ヲ補填スルト、斯ウ云フ制度ヲ採リマシテ、ソレニ依テ租稅ノ負擔ノ分配ヲ適正ナラシムルコトニ依テ、負擔ノ輕減ヲ事實ニ於テ爲スコトガ出來ルト思ッテ居リマス、ソレデ此度ノ整理ニ依テ或ハ之ヲ廢シ、或ハ之ヲ減ズル其結果歳入ガ減少スル、其減少ヲ補填スルガ爲ニ起シマス所ノ新稅、或ハ増シ

マス所ノ舊イ稅ト云フモノヲ選ブニハ相當ノ注意ヲ加ヘタ積リデアリマス、世間ニハ酒、煙草ノ増稅ニ向ッテ非難ヲスルモノモアリマス、固ヨリ是ハ歡迎スベキモノデハナイ、慶ブベキコトデハナイケレドモ、此度政府ガ廢セントスル所ノ生活ノ必需品ニ對スル課稅、其課稅ヲ廢スルガ爲ニハ、比較的ニ生活ノ必需品ニ緣ノ遠イ嗜好品ト申シマスカ、私ハ贅澤品トハ申シマセヌガ、其物ニ對スル所ノ負擔ヲ増加スルト云フコトヨリ外ニ方法ハナイノデアリマス、斯ノ如ク新稅、増稅ノ目的物ニ向ッテハ、國民生活ノ現狀ニ鑑ミテ相當ノ考慮ヲ加ヘタ積リデアリマス、隨テ歳入ノ總額ニハ増減ハナイト致シマシテモ、其分配ヲシテ從前ヨリモ宜シキヲ得セシメタル結果ト致シマシテ、負擔ヲ感ズル程度ハ或ハ國民生活上、或ハ產業發展上、從前ニ比シテ輕減サレタルモノト考ヘマス、又總額ニ於テ輕減ヲ見ナイコトハ遺憾デアリマス、ケレドモ、是ハ是マデ未ダ會テナカッタ所ノアノ大震災ノ損害ヲ受ケタル今日ニ於テハ是ハ己ムヲ得ナイ事柄デアルト思フ外ハナイノデアリマス

○三土委員 濱口大藏大臣ハ、在野時代ニ述ベラレタノハ、其當時ハ營業稅ニ主トシテ關シタモノト言ハレマス、ケレドモ、決シテサウデハナイ、増稅ノ歴史ヲ舉ゲテ、サウシテ斯ノ如キ重イ稅ヲ非常ノ場合ニ課シタノデアアル、ソレ

ヲ今日ノ場合ニ於テハ輕減スルガ當然デアアル、此負擔ノ重キガ爲ニ國民ガ自由ノ活動ガ出來ヌト言ハレタノデアリマス、單リ營業稅ノミデハナイ、而シテ此營業稅ニ致シマシテモ、我國ノ此六千萬圓ニ近イ所ノ營業稅ニ對シテ、僅ニ四百萬圓位ノ減稅ニナッテ、是ガ爲ニ國民ガ十分ノ活動ガ出來ル、鐵ノ鎖ガ解カレタト云フヤウニハ私ハ見ナイノデアリマス、我國ノ商工業者全體ノ資本、或ハ利益等カラ考ヘマシテ、三百萬ヤ四百萬ノ金ハ誠ニ微々タルモノデアアル、ソレニ是ガ所得稅ノ如クニ免稅ニナルナラバ宜シイガ、其免稅點ヲ設ケマシタ以下ノモノト云フモノハ府縣ニ於キマシテ市町村ノ附加稅ヲ設ケマシテ——寧ろ是ハ國稅ヨリ重イト思フ、免稅點以下ノモノガ國稅ヲ免レタト申シマシテモ、却テ是ガ地方稅トシテ重キ負擔ヲ課セラレマシテ、或ハ是ガ爲ニ四百圓以內ノ純益ヲ四百圓以上ニ届出ル者ガ澤山出テ來ルト思ヒマス、故ニ國稅、地方稅ヲ通ジテハ減稅ニナッテ居リマセヌ、ノミナラズ、國稅ノ範圍ニ於キマシテ、大體ヲ見マシテモ、私ハ四十種バカリノ最モ日常生活必需品ノ商種ノ營業種目ノ今回ノ改正ニ依テ増稅ニナリマスモノガ、卸賣ニ於キマシテ二十八種、小賣ニ於テ二十五、減稅ニナリマスモノガ卸賣デ十二種、小賣デ十一種、斯ウ云フ計算ニナリマス、其計算

ハ是マデノ外形表ニ依ル計算ト、ソレカラ純益ヲ標準ニスル計算、其純益ハ所得税ノ調査ノ手續ニ依テ算出致シタノデアリマスルガ、サウシテ見マスルト、生活必需品ヲ扱ッテ居リマスル商人ノ四十種ノ品目ニ付キマシテハ前申スヤウナ増税ニナルノガ多クテ減税ニナルノガ少イ、政府ノ計算ハ多少減税ニナルヤウニ計算サレテ居リマスケレドモ、私共ハ實際ノ結果ヲ見レバ必ズ是ハ増税ニナルト云フコトヲ疑ハヌ、又假ニ減税ニナリマシテモ、是ガ爲ニ國民ノ重税ノ鎖ガ手足ニ絡ッテ、是ガ爲ニ活動ガ出來ヌト云フヤウナ結果ニ陷ッテ居ル、其鎖ガ解ケルト云フヤウナ程度ノモノデハナイ、又所得税ノ制度ニ付キマシテモ色々舉ゲラレマスケレドモ、又一面ニ於キマシテハ資本利子税ト云フモノガ設ケラレマシテ、資本利子税ガ掛カレバ、商工業者ガ運用スル資本ガ高クナリマスカラ、從テ負擔ガ重クナル、要スルニ國庫ノ歳入ニ増減ナシ、濱口君ノ言葉ヲ藉リテ言ヘバ著シキ増減ナシト致シマシテモ、左様ナ範圍ニ於テ税制整理ヲ致シマスレバ、矢張數年前ニ濱口君ガ言ハレタヤウナ状態ハ尙ホ存在スルノデアルト私共ハ確信スルノデアリマス、強テ震災關係ノ事ヲ言ハレマスルガ、濱口君ノ前ノ言責ニ對シマシテハ震災ハ洵ニ救ノ神様ト言ハレル、震災ガナカタナラバドウ云フ御議論ガ出ルカ知リマセヌガ、敢

テ其餘ハ追窮致シマセヌ、財政上著シキ減少ヲ來スト云フコトハ無理ダト思ヒマスガ、併ナガラセメテハ是マデノ強イ主張ニ對シマシテモ、關稅收入ノ増加位ハ減税ニ振向ケテモ宜カラウト思フ、濱口大藏大臣ハ關稅ハ税制整理トハ別個ノ問題デアアル、税制ハ税制ノ範圍ニ於テ差引ヲ付ケルノデアアッテ、關稅ハ增收トカ減收ト云フコトヲ眼中ニ置カズ、唯產業ノ見地カラ税率ヲ左右スベキモノデアアルガ故ニ、是ハ別ノモノデアルト云フ御議論デアリマスルケレドモ、併ナガラ關稅改正ガ將來ナラバ率知ラズ、今回此税制整理案ト同時ニ、一般關稅定率法ノ改正ガ提案サレテ居ルノデアリマス、而シテ關稅ノ改正ニ依テ千九百幾十萬圓ト云フ關稅ノ增收ヲ來スト云フコトヲ政府ハ見テ居ルノデアリマス、其結果此金高ダケデモ減税ニ向ケテモ宜カラウト思フ、ソレガ出來ナイ程ノ財政ハ窮迫致シテ居ルモノデアアルカ、税制整理ハ税制整理別個ノモノトシテ、茲ニ出テ來ルコトガ明白デアアルナラバ、勘定ニ入レテ、是位ノモノヲ減税ノ財源ニ充テルト致シマスナラバ、彼ノヤカマシイ非難ノアルヤウナ煙草ノ値上ト云フコトモ、アノ程度ニハ行カヌデアッタと思ヒマス、之ニ付テモウ少シ御答辯ヲ願ヒマス

○濱口國務大臣 財政ノ状態ニ付テハ三土君ガ能ク御承知ノ通りノ状態デアリマス、關稅ノ改正ニ依テ當然生ジテ來ル所ノ千九百三十萬圓ト云フ增收ノ程度ニ於テ、セメテ税制整理ノ關係ニ於テ減税ノ出來ナイ程ノ状態デアアルカト云フコトノ御質問デアリマシタガ、如何ニモ其通りノ状態デアリマス、併シハ明ニ申シテ置キマスガ、關稅ノ改正ト税制整理トハ全然別個ノ問題デアリマス、其目的ヲ異ニシ、其理由ヲ異ニシ、其沿革ヲ異ニシテ居ル所ノ全然別ノ問題デアリマスカラ、昨日モ大體御説明申上ゲマシタ通り、是ハ税制整理ノ範圍外デアルト云フコトハ明瞭ニ御諒承置キヲ願ヒタイト思フ、其御諒承ヲ願ッタ上デ、兎ニ角關稅ノ改正ニ依テ千九百三十萬圓ノ增收トナルデハナイカ、其範圍内ニ於テ煙草ノ値上ノ率ヲ緩和スルト云フ事位ハ出來サウニ思フガドウカト云フ、斯ウ云フ御尋デアリマスケレドモ、ソレハサウ云フ譯ニハ參ラヌト思ヒマス、尙ホ申上ゲテ置キマスコトハ、税制ノ整理ニ關スル限りニ於テハ、平年度即チ大正二十二年度ガ平年度デアリマス——平年度ニ於テ八百三十萬圓ノ減收ヲ生ズル計算ニナッテ居リマス、ソコデ關稅ノ方ハドウカト申シマス、平年度ハ大正十六年度デアリマス、十六年度カラ千九百三十萬圓ノ增收ヲ見ルコトニナッテ居リマス、初年度ハ七百五十萬圓ニ止ッテ居リマスガ、平年度ニ於テハ千九百三十萬圓ノ增收ヲ生ズル、ソコデ試ニ

其二ツノ數字ヲ差引イテ見マスト云フト、平年度ニ於テハ千九百三十萬圓許リノ歳入ノ増加ニナル計算デアリマス、關稅ノ千九百萬、税制整理ノ八百萬ト、其差引ヲシマスカラ千九百三十萬圓バカリノ歳入ノ増加ニナル計算デアリマス、併ナガラ此歳入ヲ總テ合算ヲ致シ、之ヲ歳出ノ總額ト比較ヲ致シマシテ、歳入歳出ノ均衡ヲ見ルト云フコトハ、是ハ財政計畫ノ範圍ニナリマスガ、其關稅ト税制整理トノ關係ノミカラ生ズル所ノ平年度ニ於ケル一千萬圓バカリノ增收ト云フモノヲ、他ノ歳入ノ課目ト總テ混合ニ計算ヲ致シテ、マア歳入ニ於テハ申スマデモナク獨リ租稅ト、專賣益金ト、印紙收入ノミデアリマセヌ、其他ニモ御承知ノ通りノ種々ノ課目ガアル、其課目ノ見積リヲ悉ク之ヲ合算ヲ致シ、サウシテ臨時歳入マデモ合算ヲ致シ、ソコデ歳入ノ總額ガ出テ參リマス、ソレニ對シテ今度ハ此度ノ豫算ニ出シテアリマス所ノ歳出ノ各課目ノ金額ヲ合算ヲ致シマス、ソコデ十五年度カラ始メテ將來數年ニ互ル所ノ概計表ト云フモノヲ作ッテ見ル——マダ出來テ居リマセヌ、編成中デアリマスガ——ソレヲ作ッテ見マスト云フト、此處ニ初メテ歳入歳出ノ均衡ガ現ハレテ來ル、恐ラクハ編成中デアリマスカラ、明瞭ニ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、最初ノ凡ソ三年間位ノ間ト云フモノハ歳入不足ヲ見ルデアラウト思ヒマス、概

計表ノ上ニ於テ、而モ其不足ノ金高ハ相當ニ多イダラウト思ヒマス、其多イ所ノ三年間ノ歳入不足ノ補填ハ前年度剩餘金ヲ以テアル外ニハアリマセヌ、サウシテ大正十八年度以降ニ至ッテ、初メテ極ク僅カナル所ノ歳入ノ超過ガ現ハレルデアラウト豫想シテ居リマス、サウ云フ財政ノ現状デアリマスカラ、此關稅ノ改正ニ依ル所ノ當然ノ增收カラ稅制整理ニ依ル所ノ減少額ヲ控除シタル一千萬、ソレヲ以テ減稅ノ資源ニ充テルト云フコトハ、今日ノ狀態ニ於テハ到底出來ナイ相談デアルト思ヒマス

○三土委員 私共ノ計算ハサウハ見ナイノデアリマスガ、ソレハ議論ニナリマスカラ止メマスガ、此處デ政府ノ計算ハ増減ナシト言ハレマスルケレドモ、減稅、廢稅ニナリマスル方ハ最近ノ數字ヲ捉ヘテ的確ニ之ヲ見積ッテ居ル、ソレカラ増稅、新稅ニ對シマシテハ極メテ内輪ニ見積ッテ居ルト云フヤウニ私ハ思フノデアリマス、故ニ政府ノ出シマシタ書類ニ依テ見マシテ、關稅ハ別ニ致シマシテ、差引八百餘萬圓ノ減稅ニナッテ居リマス、關稅マデ勘定ニ入レマスト千百萬圓程ノ増稅ニナルノデアリマス、併シ此政府ノ計算ガ今申スヤウニ、廢稅、減稅ト云フ方ハ的確ナ數字ヲ見積リ、増稅、新稅ノ方ハ成ベク内輪ニ見積ッテ居ル、斯ウ云フ私ハ疑ガアル、例ヘバ只今例ニ舉ゲマシタ營業稅

ノ如キ、營業種目カラ申シマスルト云フト、販賣業ニ於キマシテハ少クトモ増稅ニナル方ガ多イト私ハ思ヒマス、ソレカラ酒造稅ニ致シマシテモ二千七百九十萬圓、詰リ清酒カラ味淋、燒酎、皆入レマシテ二千七百九十萬圓ト見積ッテアリマス、一石七圓平均ノ増稅デアリマシテ、而シテ政府ノ示サレタル最近大正十三年ノ清酒ノ造石高ヲ見マサルト云フト、五百十七萬九千九百石デアリマス、増稅ニ依テ需要ガ減少致シマシテ、餘程減ルモノト見マシテモ、ドウモ此二千七百九十萬圓ト云フモノハ私ハ數字ニ出テ來ナイト思ヒマス、査定造石高ガ少クトモ私ハ五百萬石ハアルト思ヒマス、増稅致シマシテ五百萬石アルト思ヒマス、五百萬石アレバ清酒ダケデハ三千五百萬圓ダケノ増稅ニナル譯デアアル、然ルニ清酒其他ノ酒マデ入レマシテ二千七百九十萬圓ト見込ンデアアル、又煙草ノ値上ニ致シマシテモ、大正十四年度ノ豫算ノ參考書ヲ見マサルト云フト、賣下豫想價額ハ二億四千萬圓ト確カアッタト思ヒマス、其二億四千萬圓ニ對シテ二割上ゲマシテモ、四千八百萬圓デアアル、其煙草ノ增收ヲ平年度ニ於テ二千二百二十萬圓トシカ見積ッテナイ、斯ノ如ク増スベキモノハ成ベク内輪ニ見積リ、減ズベキモノハ的確ニ見積ッタト云フ計算デ示シテアリマスルカラシテ、此政府ノ示サレタル數ニ依リマスと云フト、關稅ヲ除

外致シマシテ減稅ニナリマスガ、實際ノ算盤ハ私共非常ナ増稅ニナルト思ヒマス、少クトモ三千五百萬圓乃至四千萬圓ノ増稅ニナルト思ヒマス、是マデ先刻申サウナ在野時代ニハ、減稅論ヲ主張サレタ濱口大藏大臣ガ、如何ニ震災ト云フ不慮ノ天災ガアッタニ致シマシテモ、一般ノ稅制整理ヲ致シマスル場合ニ於テ、非常ナ増稅ノ結果ニ終ルヤウナ稅制整理ヲスルト云フコトハ、私ハ國民ノ期待ニ反スルト思フ、之ニ付テ尙ホ御辯解ガアレバ承ッテ置キタイト思ヒマス

○濱口國務大臣 廢稅若クハ減稅ニナルモノハ正確ノ數字ニ依テ見積ッテアルニ拘ラズ、新稅又ハ増稅ニナルモノハ非常ニ内輪ニ見積ッテアルト云フ意味ノ御質問デアリマスガ、サウ云フコトハ決シテアリマセヌ、二ツナガラ極メテ正確ニ見積ッテアリマス、只今ノ御質問ハ新稅、増稅ノ分ハ内輪ニ見積ッテアルト云フコトヲ前提トシテノ御質問デアリマスカラ、サウ云フ御質問ガ出タノデアリマセウガ、政府ハ決シテ左様ナコトハアリマセヌ、ソレハ一々正確ナル統計ニ依テ、減ル分モ増ス分モ同ジヤウニ見積ッテアリマスカラ、御必要トアルナラバ各稅目ニ付テ政府委員カラ御説明ヲサセルコトニ致シマス

○三土委員 濱口大藏大臣ハ大藏省ノ專門家ガ調ベル數字ヲ信ジテ居ルノデアラウト思ヒマス、私ハ策略的ニ増稅ノ方ハ少クシテ、減稅ノ方ハ多クシテアルトハ思ハヌ、大藏省ノ諸君ハ隨分手堅クアル方デアリマシテ、是迄ノ増稅ノ歴史ヲ見マシテモ、大藏省ノ數字ガ信ゼラレタコトガナイ、結果ニ於キマシテハ非常ナ差異ガアルノデアリマス、例ヘバ戰時利得稅ノ如キハ三千七百萬圓増稅ト云フコトデアッタノデアリマスガ、殆ド一億圓近イ増稅ニナッテ居ル——新稅ニナッテ居ル、所得稅ノ改正ノ時分ニモ七千七百八百萬圓ト云フノデアリマシタガ、餘程増シテ居リマス、ソレデ決シテ大藏省ガ惡イト云フノデハナイガ、大藏省ノ其道ノ人々ハ、手堅ク見積ル、間違ノナイヤウニ見積ルト云フノデアリマシテ、是ハ大藏省ノ數字ヲ伺フ必要ハ無い、吾々ガ政治家的ニ達觀シテ見ルト、其増稅ナルコトハ言ヒ得ルト思フノデアリマス、尙ホ他ノ同僚カラ此點ニ付テ御質問ノアル場合ニ讓リマス、尙ホ本議場ニ於テ多少議論ガアリマシタガ、稅制整理、今日ノ世界各國ノ租稅制度ノ傾向ハ、整理スル場合ニ於キマシテハ、直接國稅ヨリモ間接稅ノ負擔ヲ輕減スルト云フノガ、近來ノ社會狀態カラノ傾向ニナッテ居ルノデアリマス、尤モ國稅地方稅ヲ通ジテノ問題ニ致シマスと、別個ニナリマスケレドモ、國稅ハ國稅トシテ整理スルト云フノガ現内閣ノ方針デアアル、此點ハ吾々ハ違フ、吾々ハ國稅ト地方稅ヲ通ジナケレバ、整理ハ出來ナイト

ノ方ハ少クシテ、減稅ノ方ハ多クシテアルトハ思ハヌ、大藏省ノ諸君ハ隨分手堅クアル方デアリマシテ、是迄ノ増稅ノ歴史ヲ見マシテモ、大藏省ノ數字ガ信ゼラレタコトガナイ、結果ニ於キマシテハ非常ナ差異ガアルノデアリマス、例ヘバ戰時利得稅ノ如キハ三千七百萬圓増稅ト云フコトデアッタノデアリマスガ、殆ド一億圓近イ増稅ニナッテ居ル——新稅ニナッテ居ル、所得稅ノ改正ノ時分ニモ七千七百八百萬圓ト云フノデアリマシタガ、餘程増シテ居リマス、ソレデ決シテ大藏省ガ惡イト云フノデハナイガ、大藏省ノ其道ノ人々ハ、手堅ク見積ル、間違ノナイヤウニ見積ルト云フノデアリマシテ、是ハ大藏省ノ數字ヲ伺フ必要ハ無い、吾々ガ政治家的ニ達觀シテ見ルト、其増稅ナルコトハ言ヒ得ルト思フノデアリマス、尙ホ他ノ同僚カラ此點ニ付テ御質問ノアル場合ニ讓リマス、尙ホ本議場ニ於テ多少議論ガアリマシタガ、稅制整理、今日ノ世界各國ノ租稅制度ノ傾向ハ、整理スル場合ニ於キマシテハ、直接國稅ヨリモ間接稅ノ負擔ヲ輕減スルト云フノガ、近來ノ社會狀態カラノ傾向ニナッテ居ルノデアリマス、尤モ國稅地方稅ヲ通ジテノ問題ニ致シマスと、別個ニナリマスケレドモ、國稅ハ國稅トシテ整理スルト云フノガ現内閣ノ方針デアアル、此點ハ吾々ハ違フ、吾々ハ國稅ト地方稅ヲ通ジナケレバ、整理ハ出來ナイト

云フ考デアリマスガ、ソレハ別個ノ問題デアリマス、國稅ハ國稅ノ範圍ニ於テシテ、サウシテ國稅ノ範圍ニ於テ直接稅ト間接稅ノ定メ方ト云フコトヲ申シマス、近代ノ各國ノ租稅ノ立テ方ノ傾向ト云フモノハ、整理ヲスル毎ニ直接稅ト間接稅トノ割合ガ、段々間接稅ノ割合ガ少クナツテ行クト云フ方針ノヤウデアアル、所ガ今回ノ整理ヲ見マスト、直接稅ノ整理ニ於キマシテ、減稅スベキモノガ三千五百七十萬圓、サウシテ増稅スベキモノガ二千百萬圓デア

ル、即チ直接國稅ニ於キマシテハ減稅スル方ガ千四百七十萬圓多イノデアリマス、然ルニ間接稅ノ方ヲ見マスト、――勿論私ハ煙草マデ入レルノデアリマスガ、間接稅ノ方ハ、減稅スルモノガ五千四百十萬圓デアアル、増稅ニナリマスモノガ六千七十萬圓、斯ウ云フ計算デアリマス、即チ直接稅ニ於キマシテハ寧ろ減稅ニナル方ガ千四百七十萬圓多クシテ、間接稅ノ方ハ減稅ニナルモノガ六百六十萬圓ダケ少イノデアリマス、即チ六百六十萬圓程増稅ニナルノデ

ス、是ハ政府ノ計算ヲ信ジテ差引ヲ付ケマシテ是ダケデアリマスガ、只今申シマスヤウニ、主トシテ煙草、酒等ノ増稅若クハ値上ト云フモノハ、政府ノ計算ハ分ラヌト思フ、若シ吾ミガ見ルヤウニ見積ツテ見マスト、間接稅ニ於キマシテ三千萬圓以上ノ差引増稅ニナル、稅制整理ニ際シテ直接稅ノ整理ノ方ガ

多クシテ、間接稅ノ方ガ少イ、直接稅ダケノ範圍ニ於テハ減稅ニナルガ、間接稅ノ範圍ニ於テハ増稅ニナルト云フコトハ、其當ヲ得テ居ルヤウニ思ハナイノデアリマス、此點ニ付テ今一度伺ヒタ

○濱口國務大臣 世界各國ノ稅制整理ノ大勢ハ、直接國稅ヨリモ間接稅ノ方ニ重キヲ置クト云フヤウナ御説デアリマシタ、世界各國ト云フモノハ、私能ク承知ヲ致シマセヌケレドモ、必シモサウナツテ居ナイト思ヒマス、御承知ノ通リ最近ニ於キマシテ、英吉利ト亞米利加トハ所得稅ヲ大變ニ減額致シマシタ、ソレカラ昨年ノ夏ト記憶致シマスガ、獨逸ノ稅制整理ハ麥酒、煙草デ大増稅ヲ行ツタガ、直接稅ノ方ハ却テ輕減シタト云フ例モアリマス、併シ獨逸ガヤツテ居

ルカラ、英米ガヤツテ居ルカラ、日本モサウ云フ主義ヲ執ルト云フノデハナ

イ、唯世界各國ノ大勢ハサウナツテ居ルト云フ御話ニ對シテ、必シモサウデ

デアリマス、假令世界ノ大勢如何ニ拘ラズ、日本トシテハ稅制整理ヲ行フ上ニ於テ、現在ノ國情ニ最モ適シタル所ノ制度、殊ニ現在並ニ將來ニ於ケル社會的傾向、經濟的傾向ノ如何ヲ考ヘマシテ、假令現在ニ於テハ直ニ其必要ハ起ラヌトシテモ、少シ將來ノ事ヲ考ヘ

ト考ヘ、其方針ニ從ツテ稅制整理ヲ行ツタ積リデアリマス、直接稅間接稅ト云フ議論ハ、屢本議場ニ於テモ起ツタ御議論デアリマスガ、併ナガラ私カラ觀マスレバ、是ハ稍形式ニ傾イテ居ルト、斯様ニ考ヘテ居リマス、直接稅ノ輕減ハ、此度ノ稅制整理ニ於テ多イト仰セラレマスケレドモ、ソレハサウナツテ居ルカモ知レマセヌ、併シ其内容ヲ考ヘマスト、直接稅ガ減少シタルモノノ中デ、所得稅ノ免稅點ノ引上ト云フモノガ、尠カラザル金額ニ達シテ居ル、地租ノ免稅點ヲ新ニ設ケタ結果、千二百萬圓ノ減稅ニナツテ居ル、通行稅ハドチラノ方面ニ御勘定ニナリマシタカ知リマセヌ

ガ、是ハ申シマセヌ、所得稅ト地租トノ免稅點ノ關係カラ、尠カラザル減稅ガ直接稅ノ方面ニ現レテ居ルト云フ結果ニナツテ居リマス、而シテ其代リニ直接稅ノ方面ニ於テ、如何ナルモノガ増稅ニ適當シテ居ルトカ、又如何ナル新稅ガアルト云フコトニ付テハ、十分ニ調査研究ヲ重ネマシテ、此際財產稅ト云フモノヲ起スベキデモアルマイ、又新ニ特別所得稅ト云フモノヲ起スベキデモアルマイ、然ラバドウ云フ種類ノモノガ直接國稅トシテ新稅若クハ増稅ニ適當シテ居ルカト云フコトヲ段々研究

ノ結果、茲ニ提案致シマシタ通り、資本利子稅ノ創設、相續稅ノ増率、此二ツヨリ他ニ現在ノ狀態ニ於テ直接國稅ノ増稅若クハ新稅ニ適當シタモノヲ私ハ發

見スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、其結果偶然ナガラ先刻御指摘ニナツタ通りノ金額ガ現ハレテ居リマス、居リマスガ、其新稅増稅ノ内容ト、減稅免稅ノ内容ヲ能ク御比較ヲ願ヒタイト思ヒマス、直接國稅ノ減ガ多イト言ツタ所ガ其減ノ多クナツタ主タル原因ハ、即チ社會政策ノ實行デアアル、所得稅ノ免稅點ヲ八百圓ノモノヲ千二百圓ニ引上

テ居リマス

○三土委員 私ハ近代ノ世界ノ傾向就ニ世界ノ思想上カラ出發シタル議論ト云フモノハ、直接稅ヨリモ間接稅ノ輕減ノ方ニ重キヲ置カナケレバナラヌト云フ哲學的傾向ヲ有ッテ居ルト思フノデアリマス、一々ノ事例ハ申上ゲマセスガ、然ラバ別ノ方面カラヤッテ見マセレハ、社會政策ト云フコトヲ屢言ハレル、又社會政策ト云フコトハ、租稅政策ノ最モ重大ナルモノデナケレバナリマセヌ、吾々モ之ヲ主張スルノデアリマセヌガ、社會政策ノ見地カラ考ヘマシテ、玆ニ私ハ無產階級ノ負擔スルソレニ付キマシテ、増減ノ比較ヲ致シマスルト、成程田畑ノ地價二百圓以下ヲ免稅シタ、或ハ所得稅ノ免稅點ヲ引上ゲルト云フコトハアリマスケレドモ、玆ニ一畝一反ノ田畑ヲ持タズ、又一戸ノ家モ持テ居ラス、サウ云フ純然タル無產階級ガ個々ニ負擔スベキモノノ増減ヲ差引致シマスルト、稅ニ依リマシテ酒造稅、麥酒稅、酒精及酒精含有飲料稅、清涼飲料稅、煙草價格ノ引上、之ヲ合セマスト云フト、六千二十萬圓ト云フ負擔ノ増加ナノデアリマス、而シテ無產階級ノ共ニ負擔スベキ所ノ綿織物消費稅、通行稅、賣藥印紙稅、醬油稅、斯ウ云フモノノ廢止ニ依リマス所ノ減額ガ五千四百十萬圓デアリマス、即チ無產階級ノミノ負擔デアッテ、無產階級ニ増減ノ影響ノ及ブモノヲ比較致シマスと云フ

ト、増加スル方ガ六千二十萬圓デアッテ、減額ニナリマスモノガ五千四百十萬圓デアリマス、差引致シマシテ増加スル方ガ多イノデアリマス、是ハ前ニ申ス通り數ノ計算ニ依テサウデアリマセヌガ、其中デ煙草ノ値上、酒ノ増稅ト云フモノハ、政府ノ見積リヨリ遙ニ大キクナリマス、サウナルト一層無產階級ノ負擔ノ増減ハ、減セラレル方ガ少クテ、増加セラレル方ガ多イト思ヒマス、是デモ果シテ社會政策ノ方針ニ合致スベキヤト云フコトヲ御伺ヒ致シマス

○濱口國務大臣 或ハ三土君ト私ハ社會政策ト云フコトニ對スル見解ガ違ッテ居ルカモ知レマセヌ、一般的ニハ申シマセヌガ、此度整理ヲ行ヒマス時ニ、社會政策的ノ效果ヲ舉グルト云フ點ニ重キヲ置キマシタ、其社會政策ト云フノハ必シモ無產階級ノミノ負擔ヲ輕減シ、利益ヲ増進スルト云フ意味デ社會政策ト申シタノデアリマセヌ、是ハ私カラモ本議場ニ於テ說明致シマシ、又昨日總理大臣カラモ吉植君ノ質問ニ對シテ說明ヲサレマシタ通り、中產階級ト云フコトモ眼中ニ十分ニ置イタ積リデアリマス、是ハ御質問ニ對スル答辯ノ範圍ヲ多少超エルカモ知レマセヌ、後デ其見解ノ相違カラ生ズル所ノ意見ノ相違ニナラウト考ヘマスカラ、一應申シテ置キマスケレドモ私ノ考ト致シマシテハ、此社會ノ階級ト云フモノ、所謂有產階級無產階級、此二ニ

限リタクナイノデアリマス、有產階級對無產階級、無產階級對有產階級ト云フ兩極端ノ階級ノミガ、此國家ヲ組織シテ居ルト云フコトハ、非常ニ危險デアルト思ヒマス、幸ニ致シマシテ我國ニハ昔カラ中產階級ト云フモノガ大分盛ンデアタノデアリマス、然ルニ段々時勢ノ變遷ニ依テ、中產階級ハ動モスレバ其勢力ヲ失墜致シテ、或ル者ハ無產階級トナリ、或ル者ハ有產階級ニ併合セラレ、中產階級ト云フモノノ幅ガ段段狹クナリツツアルヤウニ思ハレルノデアリマス、殊ニ農村ニ於テ、土地兼併ト云フヤウナ事ノアリマス結果ト致シマシテ、大地主ニアラズバ即チ小作人ト云フヤウニナル狀態ノモノデアラウト思ヒマス、是ハ農村ニ限リマセヌ、都市ニ於テモ然リト思フ、之ヲ要スルニ日本ト云フ此國家ノ組織ガ、有產階級、無產階級、資本家、勞働者ト云フ如キ極端ナル二ツノ階級ニ分カレテシマフト云フコトハ、是ハ國家ノ一大不幸デアルト思ヒマス、此見地カラ考ヘマスと云フト、政府ハ出來ル限リ無產階級ノ利益ノ増進ヲ計ルニ努ムルコトハ無論デアリマスケレドモ、ソレト同時ニ中產階級ノ方ニ行カントスル傾向ヲ増進致シマシテ、其復活ト發達トヲ計ルト云フコトニ向ッテ相當ノ手段ヲ講ジ、此中產階級ヲシテ有產階級ト無產階級トノ中間ニ介在セシメ、ソレニ依テ國家ノ中堅ヲ固メ付ケルト云フコトガ、私ハ必

要デアルト考ヘマス、此度ノ稅制整理ニ於キマシテモ、其見地ニ基イテ社會政策的ノ效果ヲ舉グルコトニ努メタ積リデアリマス、其見地ガ如何ニ現ハレテ居ルカト云フコトハ、屢申シマス通り、或ハ所得稅ノ免稅點ノ引上トナリ或ハ地租ノ免稅點ノ設定トナリ、是等ハ皆中產階級ノ利益ノ増進、其滅亡ヲ防グト云フ點ニ重キヲ置イタ積リデアリマス、其點ハ政府ノ所見ト致シマシテ、改メテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソコデ只今御質問ニナリマシタ事柄ハ消費稅ノ比較ヲサレマシテ、無產階級ノ負擔ガ、此度ノ稅制整理ニ依テ減額ニナラヌドコロカ、整理前ヨリモ増加スルト云フ數字ヲ示スデハナイカト云フノデ、數字ヲ舉ゲテ御說明ニナツタデアリマス、單ニ廢稅若クハ減稅ニナツタ其金額、増稅若クハ新設ニナリマシタ其租稅ノ金額ト單純ニ相對照セシメテ、ソレヲ比較致シマスと云フト、丁度御述ベニナリマシタ通りノ金額ニナルデアラウト思ヒマス、思ヒマスルガ、是亦前ニ申上ゲタ通り、其内容ニ付テ能ク御研究ヲ願ヘバ、其御疑ハ解ケルデハナイカト思フ、即チ此度廢稅ニ致シマシタ所ノ賣藥稅、是ハ有產階級ノ使用スルモノデハナイト思フ、其消費ハ殆ド大部分無產階級ニ依テ消費サルモノデアラウト思ヒマス、有產階級ノ人ミハ、是ハ醫師ノ診療ヲ受ケルコトモ出來ル、財產ナクシテ又十分ノ資

力ナクシテ、醫師ノ診療ヲ受ケルコト
ガ出來ナイ者ハ、賣藥ヲ用ヒマス、是ハ
無產階級ノ殆ド専用ト申シテモ宜カラ
ウト思フ、綿織物又然リ、有產階級ハ、綿
織物ハ殆ド用ヒスト思ヒマス、綿織物
ハ是亦無產階級ノ専用ト申シテ宜カラ
ウト思ヒマス、ソコデ其反對ニ酒ト煙草
ハドウデアアルカ、是ハ決シテ無產階
級ノ専用デハアリマセヌ、有產階級ノ
人ミ程高イ煙草ヲ用ヒル、高イ所ノ稅
ヲ拂フ、酒モ其通りデアアル、有產階級ノ
人ミ程高イ煙草ヲ求メテ多クノ負擔ヲ
受ケルト申上ゲテ宜カラウト思ヒマ
ス、サウ云フ内容ノ違フモノヲ、唯數字
ダケヲ御比較ニナリマス、或ハ政府
ノ趣意ガ徹底シナイカモ知レマセヌ、
其消費物ナラ消費物、消費稅ナラ消費
稅、其内容ニ付テ能ク御研究ヲ受ケル
コトガ出來マシタナラバ、御疑ハ直ニ
解ケルト思ヒマス

○三土委員 私ハ内容ハ相當見マシテ
申シタノデアリマスガ、私ハ却テ濱口
君ニ内容ヲ御吟味願ヒタイト思ヒマ
ス、餘リ世間ヲ知ラスニモ程ガアルト
思フ、遠慮ナク申セバ——綿織物が無
產階級ノ専用デアアルト云フヤウナ事
ハ、殆ド社會ノ實情ニ通ゼヌ議論ダト
思フ、又賣藥印紙稅——賣藥ガ殆ド無
產階級ノ専用ニ屬スルト云フヤウナ事
モ、大變ナ間違ヒデアリマス、寧ロ私ハ
賣藥ナドト云フモノハ、贅澤ナ幕シヲ
シテ居ル人ホド多ク用ヒルト思フ、每

晩料理屋ヤ待合通ヒヲシテ居ル人ガ、
袂ニハ胃散トカ仁丹ヲ離サスト思ヒマ
ス(笑聲起ル)サウシテ又私ハ——是ハ
細カイ事ヲ申サンケレバ本當ノ的確ナ
議論ニナラスガ細カイ事ニ付キマシテ
ハ、何レ同僚カラ申サレルト思ヒマス
カラ、私ハ成ベク細カイ事ハ避ケマス
ガ、賣藥印紙稅ニ致シマシテモ、之ヲ廢
シマシタ爲ニ、果シテソレダケ賣藥ノ
價格ガ下ルカ、醫師ヲ迎ヘルコトヲ得
ズシテ困ッテ居ルヤウナ山間僻地デ、賣
藥ニ依テヤット病ヲ癒シテ居ルト云フ
ヤウナ人ガ、果シテ其恩典ニ浴スルヤ
否ヤト云フコトニ付キマシテハ、何レ
同僚カラ議論ガアラウト思ヒマス、通
行稅ニ致シマシテモ同様デアアル、私共
ハ社會政策ノ見地カラ考ヘテ、濱口大
藏大臣ガ非常ニ重キヲ置カレル減稅若
クハ廢稅ノ制度ガ、果シテ社會ノ實情
ニ對シテ適スルヤ否ヤト云フコトヲ疑
フノデアアル、大體ニ於テ私ハ無產階級
ダケヲ取ッテ見テ、増稅ニナルカ減稅ニ
ナルカト云フ事ヲ見ルコトハ、政治家
トシテ最も重キ問題ダト思フ、勿論私
ハ濱口君ハ社會政策ト云フ事ヲドウ云
フヤウニ解シテ居ラレルカ、或ハ社會
政策ノ定義ヲ伺ハナケレバナラヌカモ
知レヌ、併シサウ云フ事ハ此處デ申ス
ベキ議論デナイカラ申シマセヌ、成程
我國ノ中產階級ガ古來基礎ガ強イト云
フコトハ、洵ニ國家ノ強イ基礎デアアル、
世界各國ノ興亡ノ歴史ヲ見マシテモ、

中產階級ガ弱クナリ、若クハ無クナッタ
國家ハ亡ビルノデアアル、故ニ中產階級
ノ擁護ト云フ事ニ付テハ、私共ハ餘程
熱心ニ考ヘテ居ル一人デアリマス、併
ナガラ今回ノ稅制整理ニ依テ果シテ濱
口大藏ガ大藏省內ニ居ッテ考ヘラレル
ヤウニ、中產階級ノ擁護ニナルカドウ
カト云フコトハ、私ハ問題ダト思フ、例
ヘバ田畑ノ地租ノ免稅點ヲ二百圓トス
ル、是ハ農村ヲ擁護スルト云フ積リデ
アリマセウガ、是ハ政府ノ計算ニ依レ
バ金高ハ千二百萬圓デアアル、千二百萬
圓ノ地租ノ免稅ガ六百萬人ニ均霑スル
ノデアアル、平均スレバ一人二圓デアアル、
恐ラク私ハ——先刻國稅課長ニ一寸書
類ヲ聽イタノデアリマスガ、マダ分ッテ
居ラヌト云フコトデアリマスカラ、ア
トデ調査ヲ願ッテ置キタイノデアリマ
スガ、此六百萬人ノ中デ、免稅金額一圓
以下ノ人ガ私ハ半分以上デナイカト思
フ、最高ノ免稅ヲ受ケル人ガ十圓デア
ル——現行法ヲ基礎ニシテ言ヒマス
十圓デアアル、所ガ一圓以下ノ免稅ヲ受
ケル方ガ三百萬人以上アルト私ハ思フ
ノデアリマス、最高ノ十圓ノ免稅ヲ受
ケルト云フ人ハ極メテ少數デアルト思
フ、地租ノ免稅點ヲ設ケタコトニ依テ、
中產階級ガ助カルナント云フコトヲ考
ヘテ居ラレルト、私ハ非常ニ間違ッテ結
果ヲ見ハセヌカト思フ、又地方ノ農村
ノ人ハ、ソナナ一人平均二圓グラキノ
免稅ナドヲシテ貰ハウトハ思ッテ居リ

ハセヌト思フ、サウコタヘヌノデアリ
マス、ソレヨリモ酒ノ値上、煙草ノ値上
ノ方ガコタヘル、何レ是ハ細カナ計算
ヲシテ他ノ同僚カラ質問スル人ガアラ
ウト思ヒマスガ、私共ノ計算ニ依リマ
スト今回ノ稅制整理ニ依リマシテ、國
稅地方稅ヲ通ジテ考ヘマスト云フト、
田畑ノ四段五段グラキ持ッテ居ルヤウ
ナ人ハ増稅ニナル、負擔ガ増加ニナル
ノデアリマス、社會政策ト云フ事ハ、私
共ノ解スル所デハ自然ノ儘ニ放任シテ
置ケバ、經濟上ノ進歩ニ依テ貧富ノ懸
隔ガ激シクナリ、ソレニ依テ社會ノ調
和ガ破レル、之ヲ政治ノ作用ニ依テ緩
和スル、其方策ヲ稱シテ社會政策ト申
スト思ヒマス、其定義ヲ尺度トシテ私
ハ考ヘタイノデアリマスガ、此尺度ニ
依テ考ヘテ見マシテ、濱口大藏大臣ガ
考ヘラレル如ク、國稅地方稅ヲ通ジテ
ノ數字ガ中產階級ノ擁護ニナルト云フ
コトハ、到底考ヘラレマセヌ、一番間違
ナク擁護サレマスノハ、大キナ資本家
銀行家デアリマス、營業稅法ノ改正、所
得稅法ノ改正等ニ依リマシテ、最モ利
益ヲ觀面ニ受ケマスノハ大キナ銀行會
社デアリマス、是ハ確ニ利益スルト思
ヒマス、尤モ業態ニ依テ多少違ヒマス
ケレドモ、大多數ノ業態ニ於キマシテ
ハ、的確ニ擁護サレルト思ヒマス、併ナ
ガラ中產階級ガ擁護サレルト云フコト
ハ、全ク机上ノ空論デアルト考ヘマス、
私ハ細カナ質問ハ同僚ニ譲リマシ

テ、是ダケデ打切りマス

○濱口國務大臣 別ニ御質問デハナカッタウデスガ、私一言ヲ申サナケレバナラス、社會政策ノ定義ヲ承リマシタガ、大體御同感デアリマス、詰リ階級ガ兩極端ニ分レルコトヲ防グ爲ニ、國懸隔ノ激甚ニナルコトヲ防グ爲ニ、國家力ニ依テ相當ナル所ノ政策ヲ行フ、其ノ通りデアラウト思ヒマス、ソレヲ行フガ爲ニハ即チ中産階級ヲ擁護スルト云フコトガ必要デアル、殊ニ無産階級ニ近イ所ノ中産階級、中産階級ノ下層ト云フモノニ向ッテ之ヲ擁護スル政策ヲ講ズルコトガ、貧富ノ懸隔ヲ緩和スル所以デアラウト思ヒマス、其見地ニ基イテ先刻來説明ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ三土君ハ政府ノ政策ガ中産階級ノ擁護ニナラヌト云フコトヲ立證サレルガ爲メデアリマセウガ、地價二百圓未滿ノ田畑ヲ免稅スルト云フ政府案ニ對シテ、地價二百圓未滿ト云ヘバ最高地租ガ十圓デアアル、之ニ依テ生ズル所ノ歳入ノ減少ハ千二百萬圓、ソレヲ六百萬カ七百萬人間ニ分配スルト平均ハ二圓ニシカナラス、一番低イ者ハ一圓ニモ足りマイト思フ、一番高イ者デ十圓、平均二圓ニナル、ソレ位ノ金額デドウシテ中産階級ノ下層ニ居ル者ノ擁護ガ出來ルカ、斯ウ云フ趣意デアッタウデアリマスガ、是ハ能ク御考ヲ願ヒタイ、三土君ハ詰リ御自分ノ生活ヲ標準ニサレテ、一圓、二圓乃至

十圓ト云フ金額ヲ餘リニ輕ク視テ居ルノデハナイカト思フ、一圓、二圓デアアル、五圓、七圓デアアル、最高十圓デアアルカラ、ソレ位ノモノデハ何等ノ救済ニナラヌト云フ如キ考ヲ以テ、此全國ノ農村ニ居ル所ノ中産階級ノ下層ノ人々ニ臨ムト云フコトハ、是ハ失禮ナガラ農村ノ實情ニ通ジテ居ナイト言ハナケレバナラス(拍手「ノーノー」)サウ云フコトハ御一考ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、是ダケ申シテ置キマス

○三土委員 私ハ只今ノ大藏大臣ノ御辯明ヲ伺ヒマシテ尙ホ一言附加ヘテ置キマス、私ハ最初カラ申シマス通り、農村ノ負擔ガドウ云フ風ニナルカ、國稅地方稅ヲ通ジテドウ云フ風ナ結果ヲ見ルカト云フコトハ、是ハ細カイ事ヲ後カラ申スト云フコトヲ申シテアリマス、地租ノミヲ捉ヘテ、地租ガ二圓減ル位デハ何ニモナラヌト云フダケデアアリマセヌ、地租ハ二圓減ルガ他ノ稅デ増スノデアリマス、地租ハ平均二圓デアリマセケレドモ、醬油稅ニ致シマシテモ、事實農村デ醬油ヲ一箇年ニサウ澤山買フ人ハアリマセヌ、隨テ醬油稅ノ全廢ニ依ル恩惠ナント云フモノハ非常ナ少イモノデアアル、七錢カ八錢デアリマス、然ルニ煙草ハドウデアアルカ、煙草ヲ一ツ値上ラセラレタ爲ニ、大抵全國デ——農家ノ標準ニ致シマスガ、農家ノ一家族ノ中先ヅ誰カ一人煙草ヲ喫ムト致シマス、他ノ煙草ノ事ハ私ヨク知

リマセヌガ、農家デモ近頃ハ隨分「朝日」ヲ喫ンデ居ル人ガ澤山アリマス、ソコデ「朝日」ヲ標準ニ致シマシテ、「朝日」ヲ一日ニ一袋——家族ノ中デ親カ息子カ誰カ一袋喫ム、ソレデ一袋ニ付テ三錢トッタノデアリマスカラ、三百六十五日平均致シマスレバ十圓九十五錢上ル、煙草一ツノ値上デ以テ所得稅、賣藥稅、通行稅ノ廢止モ、地租ノ免稅點ノ設置モ、差引スレバ何ニモナラヌコトニナルデアリマス、ソレデ私ハ申スノデアリマス、大藏大臣ガ折角考ヘテ居ラレマス社會政策ト云フ御方針ハ、實際ノ結果トシテハ違ヒマス云フコトヲ私ハ申シテ、此質問ヲ打切りマス

○濱口國務大臣 是ハ意見ノ相違デアルト云フコトデアレバソレマデバアリマスケレドモ、一言申シテ置キマスガ、煙草ヲ生活ノ必需品ト御考ニナッテ居ルヤウデアリマス、而シテ着物ハドウカ、綿織物ハドウカ、或ハ賣藥ハドウカ、醬油ハドウカ、是コソ私ハ生活ノ必需品ト思フ、斯ウ云フ席デサウ云フ言葉ハ使ヒタカアリマセヌケレドモ、ドウモ生活ノ必需品ト云フ言葉ニ對スル見解ガ三土君ト違フヤウデアリマス、私ハ煙草ガ生活ノ必需品、之ヲ喫マナケレバ人間ガ死ヌルトハ考ヘマセヌ、此點ニ意見ノ相違ガアラウト思ヒマス

○元田委員長 序ニ大藏大臣ニ御尋シタイノデスガ、近來煙草ノ品質ガ段々惡クナルヤウニ、私ノヤウナ煙草喫ミハ感ズルノデアリマスガ、サウ云フコトハナイデセウカ

○濱口大藏大臣 ソレハ此席カラ御答シマスガ、大分改良シテ居ル積リデアリマス、暫ク御待チヲ願ヒタイト思ヒマス

○湯淺委員 本日ハ午前中カラ質問ヲ繼續シタ次第デアリマシテ……

○三土委員 一寸……

○元田委員長 三土君マデアリマスカタガ、濱口大藏大臣ノ御言葉ニ對シテマダ言ハナケレバナラヌコトガアリマス、私ハ煙草ガ生活ノ必需品トハ申シマセヌ、申シマセヌガ、事實煙草ヲ喫マズニ居ラレヌ人多イ、事實必要カドウカ知リマセヌガ、喫マズニ居ラレヌ人多イノデアリマス、之ヲ机ノ上ノ考カラ必要デナイト云フコトハ、實際生活ニ通ゼヌ御議論ダト思ヒマス、實際生活ニ必要ダトカ必要デナイトカト云フコトヲ申スノデアリマセヌ、農家ノ慣習上カラ考ヘテ實際必要ダト云フデアリマス、稅制整理ノ結果、負擔ガ重クナルカ輕クナルカト云フコトヲ云フノデアリマス、煙草ヲ喫マナクテモ死ニハセヌト云フナラバ、電車ニ乗ラナクテモ死ニハセヌノデアリマス

○湯淺委員 本日ハ午前ヨリ引續イテ相當勉強致シマシタ、今日ハ此程度デ散會シテ、明日十分ニ審議ヲ盡サレンコトヲ望ミマス

○元田委員長 如何デセウカ、今日ハ
是デ散會ト云フ動議ガ起リマシタガ、
御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○元田委員長 ソレデハ是ニテ散會致
シマス、明日ハ只今大藏大臣ト交渉致
シマシタガ、正確ニ出席スルコトニ致
シテ、午後一時カラト云フコトデゴザ
イマス、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス
午後三時四分散會

大正十五年二月四日印刷

大正十五年二月五日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社